コンポーネントキッチン

サンファーニ〈ティオ〉

フロアユニット　ウォールキャビネット　取付部材
取付・設置説明書

■取付・設置開始前に必ずお読みください。
■取付・設置者の安全と使用者の安全確保のために、この取付・設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい取付・設置をおこなってください。
■キッチン本体の取付・設置とそれにともなう関連工事（建設工事等）は区別しておこなってください。関連工事については法令・規定にしたがった工事（有資格者等による）が必要になります。
■梱包材や残材は、「廃棄物処理法」に従って適切に処理してください。
■取扱説明書は、必ずお客さまにお渡しください。

LIXIL
Link to Good Living

INDEX

必ずお守りください…… 3

設置前の確認…… 4

工事区分…… 4

各部の名称…… 6

設置手順…… 6

1．事前工事（建設工事）…… 7

2．取付位置・基準線の出し方 …… 8

3．同梱部品一覧表 …… 9

4．天井フィラーの取り付け…… 10

5．天井スペーサーの取り付け…… 10

6．ウォールキャビネットの取り付け…… 11

7．各種ウォールキャビネットの取り付け…… 13

8．すき間うめ部材の取り付け…… 13

9．フロアユニットの取り付け…… 14

10．フロアユニット（トレーボードタイプ）の取り付け…… 14

11．ワークトップの据え付け…… 15

12．水栓の取り付け…… 17

13．排水部品の取り付け…… 18

14．エンドパネルの取り付け…… 22

15．調整方法…… 23

16．仕上げ・付属部品の取り付け…… 25

17．取付・設置担当者へのお願い…… 26

必ずお守りください

表示について

この取付・設置説明書では、製品を安全に正しく取付・設置し、お客さまや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、下の表示をおこなっています。いずれも使用者の安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った設置をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った設置をすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

この記号は禁止の行為であることを告げるものです。

この記号は必ず実行していただきたいことを告げるものです。

本体に同梱されている取扱説明書は、お客さまにお渡しする大切な書類です。
紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付・設置完了後、お引き渡し時にお客さまにお渡しください。

⚠ 警告

ステンレス製カウンタートップやシンクを取り扱うときは、必ず保護手袋を着用する。
切断面にさわると、ケガをするおそれがあります。
キッチン取付・設置

ウォールキャビネットの設置は、建築壁の構造を確かめて正しく取り付ける。
ウォールキャビネットが落下して、ケガをするおそれがあります。
大工工事（取付下地） キッチン取付・設置

フロアユニットの設置は、建築床の構造を確かめて正しく取り付ける。
床がたわんだり、床が損傷するおそれがあります。

電気工事・管工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」がおこなう。
火災・感電・ガス漏れ・水漏れの原因になることがあります。

キッチン本体の取付・設置と建設工事（電気工事・管工事・大工工事・建具工事など）は区別しておこなう。
建設工事は関連する法令・規定に従って、法的有資格者による管理工事が必要になる場合があります。

⚠ 注意

棚板を設置するときは、棚受を隙間のないよう奥まで確実に差し込む。
棚板がはずれ収納物が落下して、ケガをするおそれがあります。

排水器具・排水ホースの取り付けおよび給排水管の接続部分のシールは、説明書どおり正しくおこなう。
水が漏れたり、湿気が上がり床などが腐るおそれがあります。不快な臭いや、カビの発生原因になることがあります。
管工事

排水ホースはU字型に曲げたり、折り曲げて取り付けない。
排水能力が低下してシンクから水があふれ、床を汚すおそれがあります。
管工事

取付・設置完了後は扉の傾き・ガタつき・丁番のゆるみのないことを必ず確認する。
使用中に扉が落下して、ケガをするおそれがあります。

ステンレス製ワークトップのシンク前に手をついて作業を行わない。
ワークトップがへこむおそれがあります。

組み込まれる電気機器・調理機器・レンジフード・その他機器については、それぞれの取付・設置説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく設置する。
思わぬ事故や故障の原因になることがあります。
電気工事 キッチン取付・設置

水栓の取り付けは必ず取付・設置説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく設置する。
水やお湯が漏れ、床を汚したり損害が出るおそれがあります。
管工事 キッチン取付・設置

取り付け・仕上げに使われる溶剤・接着剤・洗剤・その他薬品類については、記載されている注意事項に従って、正しく使用する。
誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や、劣化の原因になります。
キッチン取付・設置

キッチン両隣に壁がくる場合は、キッチンの間口寸法より5㎜以上広いことを必ず確認する。
狭いとキッチンが設置できないおそれがあります。

引き出しを開けた時に鏡板が建築物側の枠材に当たらないよう、クリアランスをとって設置する。
クリアランスを十分とらないと、引き出しを開けた時に鏡板がドア縁や巾木に当たるおそれがあります。

本製品のホルムアルデヒド発散区分

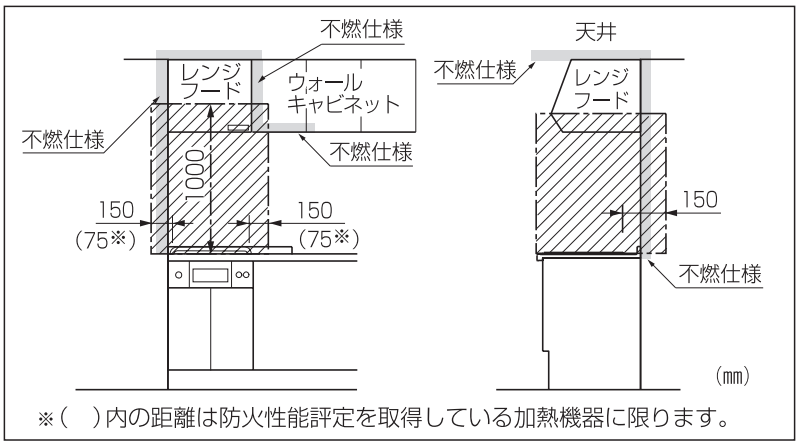
表示内容					
1	商品名	コンポーネントキッチンサンファーニ〈ティオ〉	6	ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	PB　F☆☆☆☆ MDF　F☆☆☆☆ 合板　F☆☆☆☆ 接着剤　F☆☆☆☆
2	企業名	株式会社　LIXIL			
3	ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分及び下地部分とも　F☆☆☆☆			
4	表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチン・バス工業会表示指針による	7	本表示に対するお問い合せ先	お客さま相談センター TEL・FAXは、キッチン取扱説明書（ウラ表紙）に記載。
5	製造番号又は年月日	キャビネット本体に貼付の検査証によりご確認ください。			

設置前の確認

火災予防条例（東京都）では、右図斜線内に可燃物があってはならないと規定されています。

- 斜線内に入るウォールキャビネットやエンドパネルは不燃仕様のものを設置し、斜線内に入る壁面は関連する法令・規定に準じ不燃材を使用してください。
- レンジフードに隣接するウォールキャビネットやエンドパネルは不燃仕様のものを設置し、壁面および天井は関連する法令・規定に準じ、不燃材を使用してください。

（下地が準不燃材以下で仕上げている場合は、加熱機器を運転させたときに下地の表面が室温を35℃で100℃を超えないことが条件です。詳細に関しては各自治体へ確認ください。）



※（　）内の距離は防火性能評定を取得している加熱機器に限ります。

これ以上に規定されている地域もありますので、地域の条例に従ってください。
※詳しくは、【所轄の消防署】へ確認してください。

1. 設置場所の水平・垂直・コーナーの直角等のレベルがでているか確認してください。
2. 給水湯管・排水管の位置を確認してください。
3. 加熱機器の配管、配線接続位置を確認してください。
4. 電気製品の配線接続位置を確認してください。
5. ウォールキャビネットを取り付ける壁面の強度、また必要な箇所に取付桟がはいっているかを確認してください。
6. 窓枠、ドア枠などと製品が干渉しないか（扉や引出しに干渉しないか、引き出しなどが完全に引き出せるか）を確認してください。
7. 注文した製品と納入された製品の左右勝手、ガス種、周波数などを確認してください。
8. 付属部品を確認してください。

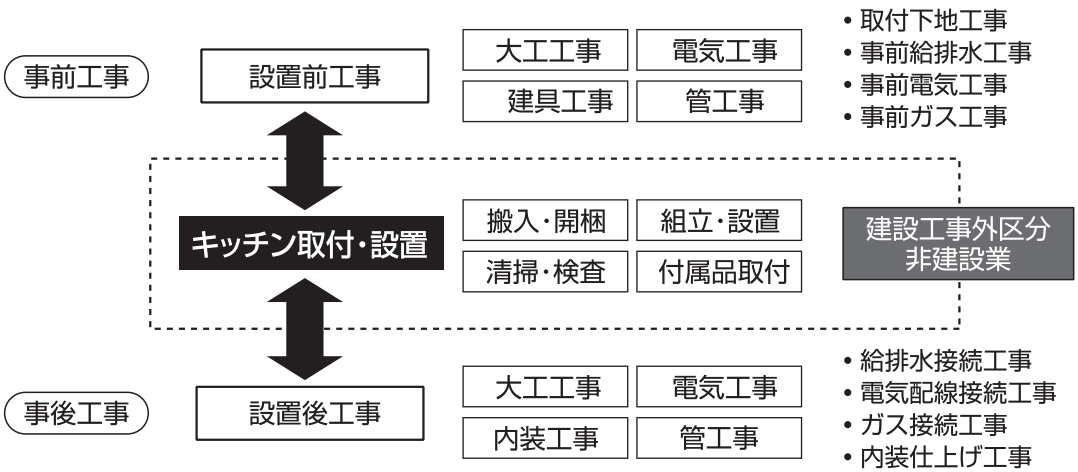
※上記内容に不備がある場合は手直しが必要です。建設工事として手直しが必要な部分は関連する法令・規定にしたがって工事をおこなってください。

工事区分

⚠警告

本説明書は、キッチン本体の取付・設置と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事、管工事（給排水）、建具工事などと区別して説明しています。
建設工事は、関連する法令・規定に従って法的有資格者による工事が必要になる場合があります。
流通業者様（販売店様等）からの発注で下請けとして「本体の取付・設置」をおこなう場合は、建設工事部分と「キッチン本体組立・設置」を区別しておこなってください。〈下図〉

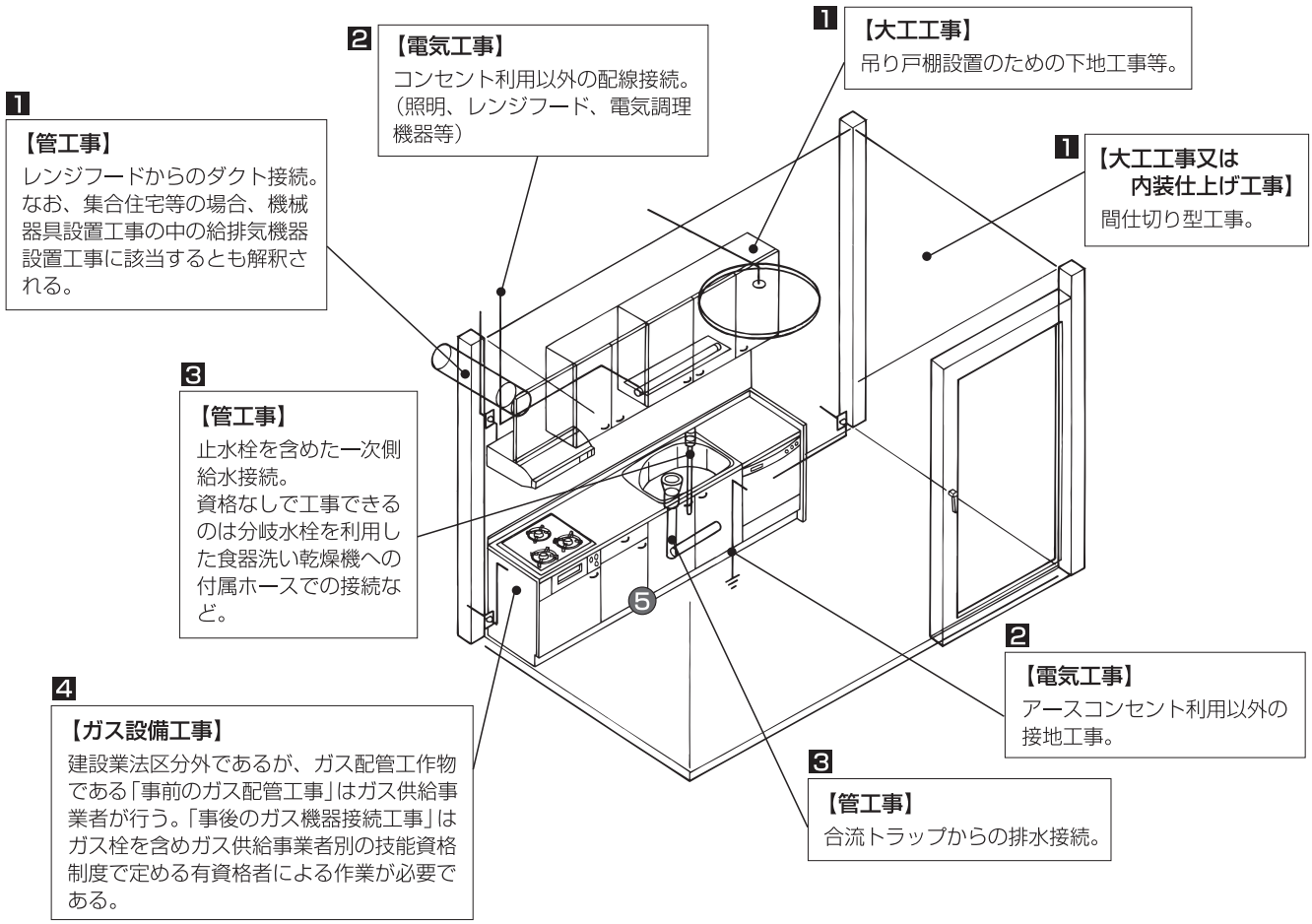
■「キッチンの取付・設置」とユニット工事区分



■キッチンの工事区分〈例示〉

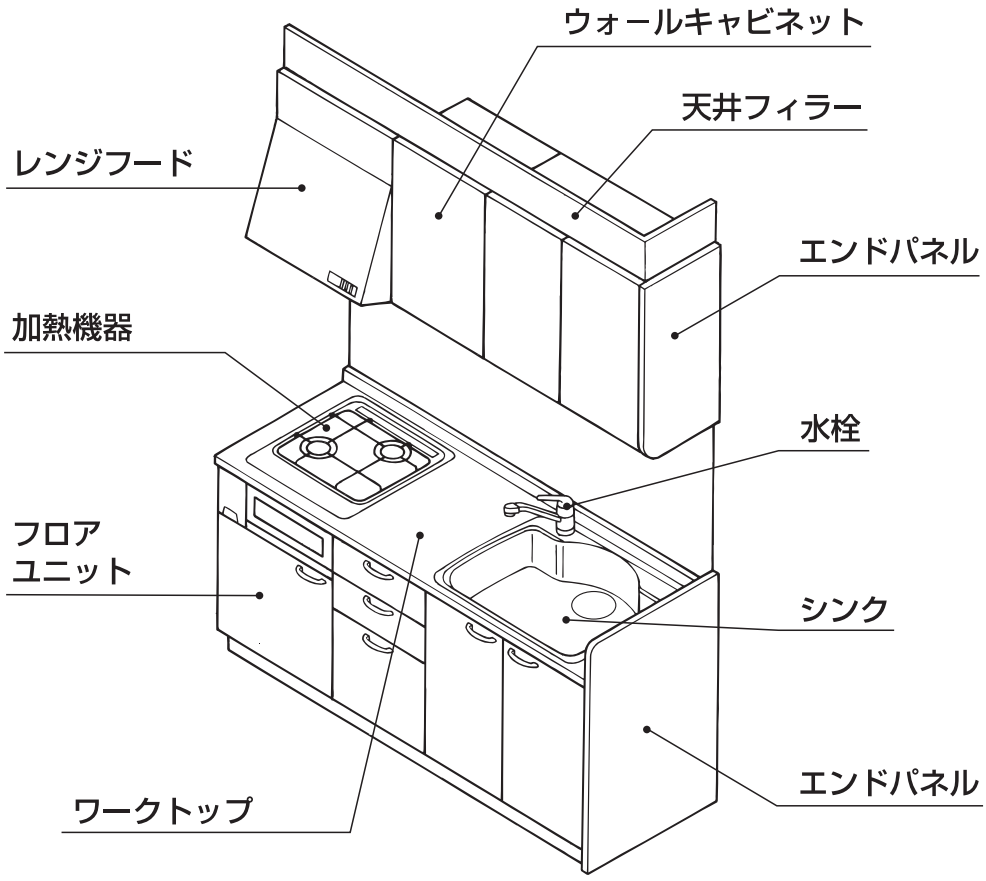
ユニット工事区分	部位（図）		作業名称（区分）	建設業区分 大工工事業	管工事業	電気工事業	建設業外 ガス設備	キッチン取付	作業内容
事前工事	1	大工工事 管工事	外壁の開口工事	○	○				レンジフードのダクト用の建築壁の穴あけ工事
			建築壁の下地処理工事	○					キャビネット等の取付けのための壁下地処理工事
			排気ダクトの関連工事		○				建築物の事前ダクト配管等の工事
			キッチンパネル下地処理工事	○					キッチンパネルを貼る為の建築壁の下地処理工事
	2	電気工事	レンジフードの電源アース工事			○			建築の屋内配線と配線器具（コンセント）工事
			加熱機器の電源アース工事			○			加熱機器の事前電気工事
			ウォールユニットの電気工事			○			屋内配線と配線器具（照明）接続、検査工事
			電動昇降機の電源工事			○			電動昇降機の専用電源・アース工事
			食器洗い乾燥機の電源･アース工事			○			食器洗い乾燥機用の専用電源・アース工事
	3	管工事	排水配管の立上工事		○				キッチン排水用の所定位置排水管立上工事
			給水・給湯配管立上工事		○				キッチン専用の所定位置配管立上工事
			食器洗い乾燥機用給排水配管工事		○				食器洗い乾燥機用の専用給水給湯排水事前工事
	4	ガス工事	ガス調理機器のガス配管				□		ガス機器用の事前ガス配管工事
キッチン本体取付設置	5	建設工事区分外	キッチンパネル取付け					□	製品を加工して建築下地へ取付け
			製品間のシリコン充填					□	製品間の隙間を仕上げる処理作業
			レンジフードの取付け					□	本体及び化粧パネルを取付ける作業
			ウォールユニット取付け					□	所定の建築仕上げ壁へ取付ける作業
			電動昇降ウォールユニット取付け					□	電動昇降ウォールユニットを壁へ取付ける作業
			ベースキャビネット･天板の取付け					□	天板、キャビネットの組立･調整して設置する作業
			キッチン排水部品の組立					□	排水トラップ部品とシンクの組立
			水栓の組立・天板取付け					□	水栓、浄水器同梱部材の組立（天板への取付け）
			ビルトイン機器の取付け					□	ビルトイン機器のキッチン本体への組込作業
			試運転、完成品検査（注記１）					□	完成後の試運転、性能確認検査
事後工事	2	電気工事	ウォールユニット照明器具工事			○			事前配線の電源線と照明器具の接続、検査
			電気配線器具の取付け			○			スイッチ、コンセント等の電気配線工事
			レンジフードとダクト接続工事		○				建築ダクトとレンジフードの接続、検査
			その他電化機器の工事			○			電化機器と電源線、アースの接続工事
	4	ガス工事	ガス調理機器のガス管接続				□		ガス機器とガス配管の配管接続工事
	3	管工事	給水･給湯配管と水栓の接続		○				給水・給湯の一次側と水栓の接続、検査
			給水･給湯配管とオプション機器の接続		○				オプション機器と一次側給排水の接続、検査
			建築側排水管への接続工事		○				キッチン排水管と建築排水管の接続、検査

注記１）製品の完成品検査、試運転は、事後工事完成後おこなう場合が多い。



各部の名称

● コンパートメントキッチン



設置手順

取付下地の取り付け	大工工事
配管の立ち上げ	管 工 事
電源線の取り出し・コンセントの取り付け	電気工事

↓

キッチンパネルの取り付け バックパネルの取り付け	キッチン取付・設置

↓

レンジフードの取り付け	キッチン取付・設置

↓

ウォールキャビネットの取り付け フロアユニットの取り付け	キッチン取付・設置

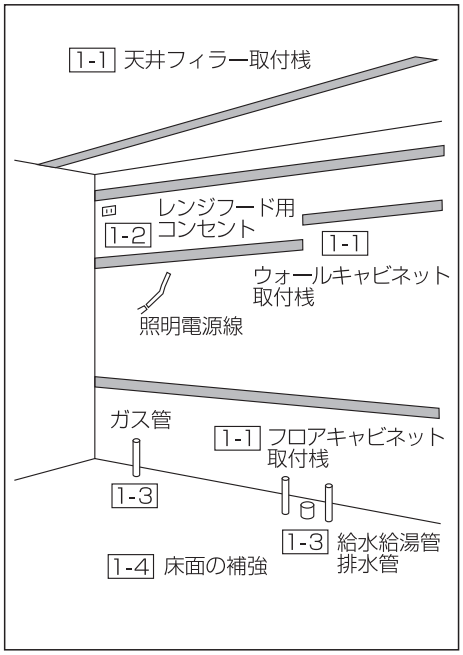
↓

レンジフードダクト、配管の接続	管 工 事
電源線の接続	電気工事
目地処理	内装工事

※キッチンと壁面床面等の間をシリコーン等で目地処理（止水）する作業は、内装工事区分となる場合があります。

1 事前工事（建設工事）

1-1 取付桟の取付け 大工工事



キャビネットを取付・設置する壁面に、取付桟を取付けるか、埋込んでください。

せっこうボードで仕上げる壁面は、せっこうボードの内側に取付桟を取付けてください。

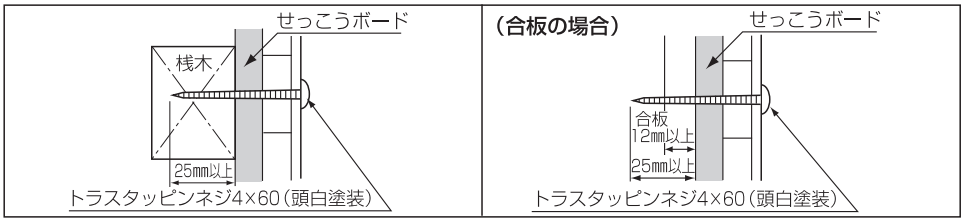
⚠警告

以下の事項と条件を必ず守って取付･設置する。
守らないとウォールキャビネットが落下するおそれがあります。

取付桟の取付けは、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」がおこなう。

●本体重量と収納重量の荷重に対して、取付桟（下地）が落ちないだけの強度をもたせてください。
最大300kg／1キャビネット当たりの強度がもつように柱・間柱に確実に固定してください。
●キャビネットを取付・設置する壁面には、取付桟（下地）を取付けるか、埋め込みます。
●取付桟（下地）は広葉樹、マツ・ツガ等の強度のある針葉樹いずれかの無垢材を使用します。また、厚さ30㎜以上、幅100㎜以上が必要です。
●合板を取付桟（下地）として使用する場合は、ラワン合板などの硬い材質の普通合板（表面が平滑でフシがない、虫くいや、くされのないもの）を使用します。また、必ず厚さ12㎜以上のものを使用してください。
●せっこうボードで仕上げる壁面は、せっこうボードの内側に取付桟（下地）を取付けます。

●吊戸棚の取付けは、必ず商品同梱の専用ネジ（トラスタッピンネジ4×60（頭白塗装））を使用し、取付桟（下地）に25㎜以上かかるようにしてください。
●合板下地の場合は、下地からのネジ貫通しろを13㎜以上としてください。
●合板下地はネジ箇所だけではなく、全面下地（吊戸棚全体）を原則とします。



●鋼板下地の場合・鋼板の変形を防ぐため必ずせっこうボード等で覆ってください。
・下地からのネジ貫通しろを25㎜以上としてください。
●鋼板下地でせっこうボード2枚貼りの場合、その内側に下地を敷設する事は、上記のネジ貫通しろが確保出来ないため設置できません。
●鋼板の厚みは必ず0.8㎜以上のものを使用してください。
●軽量鉄骨躯体（LGS）の設置間隔は300㎜以下を守ってください。

1-2 電源線の取出し・コンセントの取付けについて 電気工事

⚠警告 電気工事は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」がおこなう。

1-3 ガス管・給水給湯管・排水管の立ち上げについて 管工事

⚠警告 管工事は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」又は管理者の指示に従っておこなう。

1-4 床面の補強工事について 大工工事

⚠警告 床面の補強は、関連する法令・規定および製品設置耐荷重に従って必ず建設業者（大工工事）でおこなう。

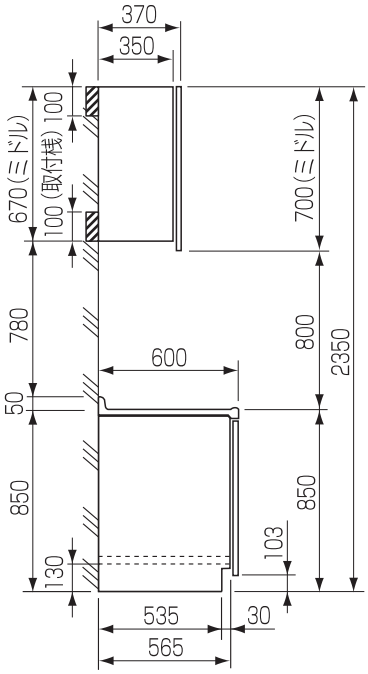
本体重量と収納量の荷重に対して、たわまないように強度を保たせてください。
（300kg/1キャビネット程度の荷重がかかります）

2 取付位置・基準線の出し方

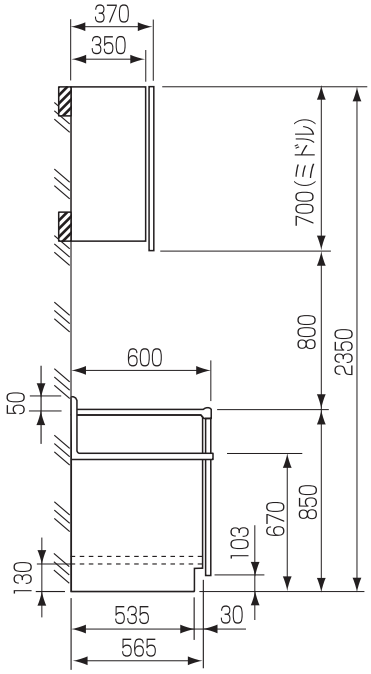
2-1 取付位置

■基本設置寸法

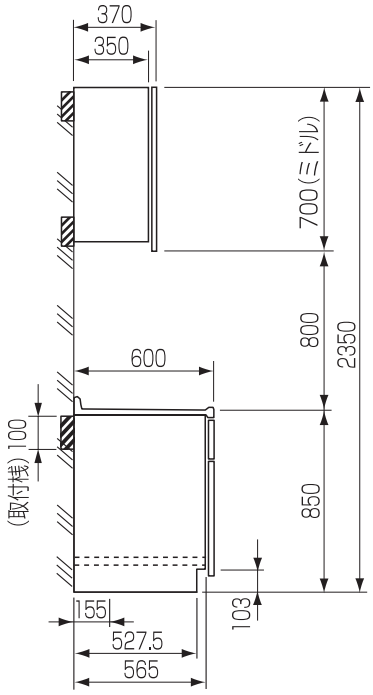
●コンパートメントキッチン



●ブロックキッチン
コンロ台タイプ



●トレーボードタイプ



※本図はウォールキャビネット高さ H＝700の時を示す。

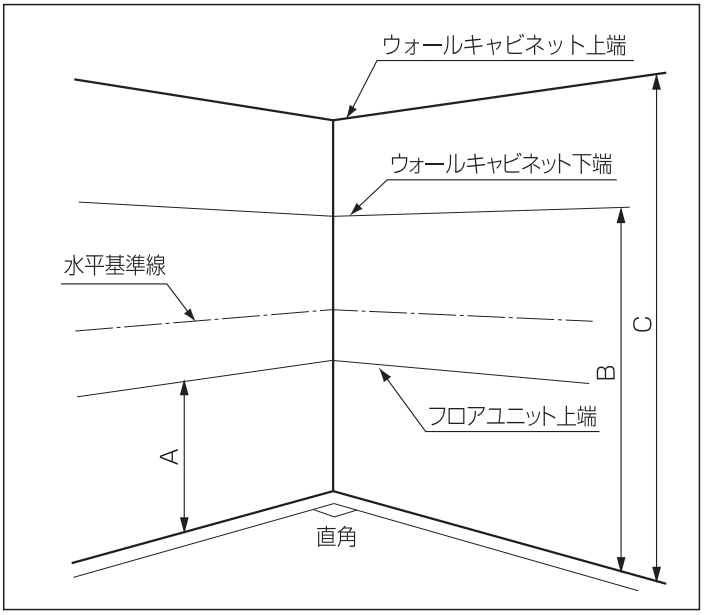
2-2 基準線の出し方

⚠注意

取付・設置前に必ず設置場所の水平・垂直・直角度・レベルなどを正確に調べる。これを基準にキャビネットを取り付ける。
ウォールキャビネットの水平が出ていない場合、扉キャッチが正常に作動しないおそれがあります。

①レーザーや水準器(水平器)等で各コーナーにポイントを取り、水平基準線を打ってください。
水平基準線より上記の取付位置または取付図を参考に基準線を求めて墨を打ってください。

②床、壁面、天井の直角度と水平、垂直をレーザーまたは水準器(水平器)等で確認してください。



ワークトップ	A	B	C
ステンレストップ (フロアユニットと一体のタイプ)	900	2350	1680
ステンレストップ (フロアユニットと別梱包のタイプ) 人造大理石トップ	828		

※本図はウォールキャビネット高さ H＝700の時を示す。

3 同梱部品一覧

⚠ 注意

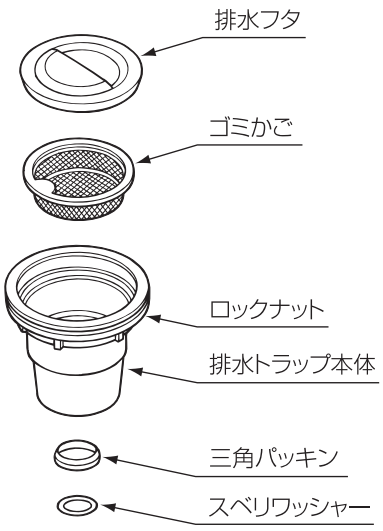
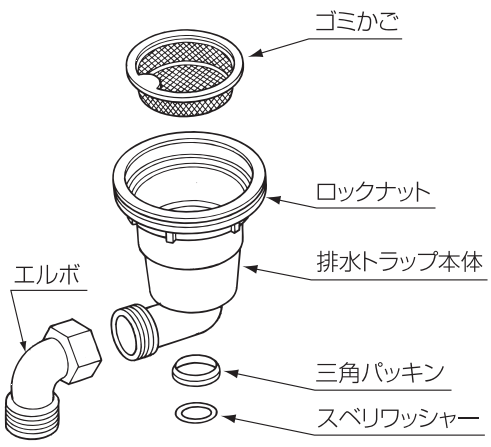
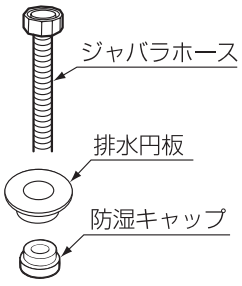
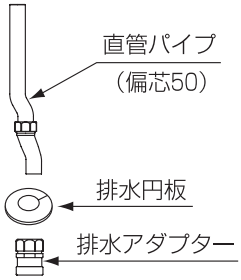
必ず指定のネジ類を使用する。
使用しないと、キャビネットの落下などによりケガの原因となります。

取付・設置で使用する固定ネジは、しめすぎによる空回り、頭つぶれのないようにする。
固定ネジがきかないと、キャビネットなどが落下してケガの原因となります。

■ネジ・金具類一覧表（プランによっては付属されない部品があります。）

部　品　名		用　途	同梱場所
カウンター固定用金具		ワークトップとキャビネット固定用	ワークトップ
トラスタッピンネジ 3.5×12		ワークトップとキャビネット固定用 （人造大理石トップ用）	
サラモクネジ 3.5×32		ワークトップとキャビネット固定用 （人造大理石トップ用）	
トラスタッピンネジ 3.5×8		ワークトップとキャビネット固定用 （ステンレストップ用）	
サラモクネジ 3.5×13		ワークトップとキャビネット固定用 （ステンレストップ用）	
トラスタッピンネジ 4×60（頭白塗装）		フロアユニット固定用 （トレーボードタイプのみ） ウォールキャビネット固定用	フロアユニット （トレーボードタイプのみ） ウォールキャビネット
サラタッピンネジ 4.5×27（頭白塗装）		キャビネット連結用 エンドパネル固定用	フロアユニット ウォールキャビネット エンドパネル

■排水部品

開き戸タイプの場合	トレーボードタイプの場合	別途手配品
●ワークトップに同梱 	●ワークトップに同梱 	●排水ジャバラホースセット  ●直管排水パイプセット 

4 天井フィラーの取り付け

4-1 取り付け前の確認

●天井フィラー取付桟用の取付ネジは別途手配です。取付ネジはマルモクネジ3.5×32を使用してください。
●天井フィラーは現場で寸法合わせをし、カットしてください。

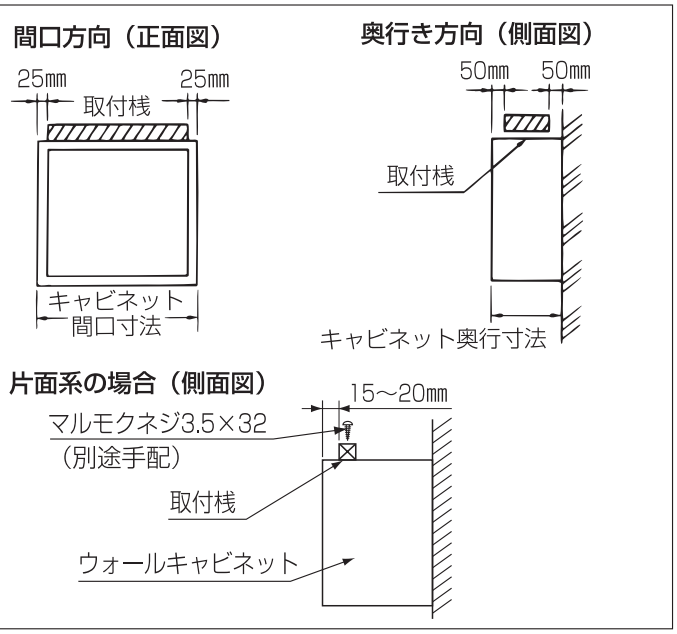
4-2 取付桟の工事

⚠警告 天井への取付桟の工事は関連する法令・規定上の管理者の指示に従っておこなう。

※天井への取付桟の取り付けは、**大工工事**区分です。

キャビネット類を建築躯体に取り付ける前に、取付桟をキャビネットに取り付けてください。

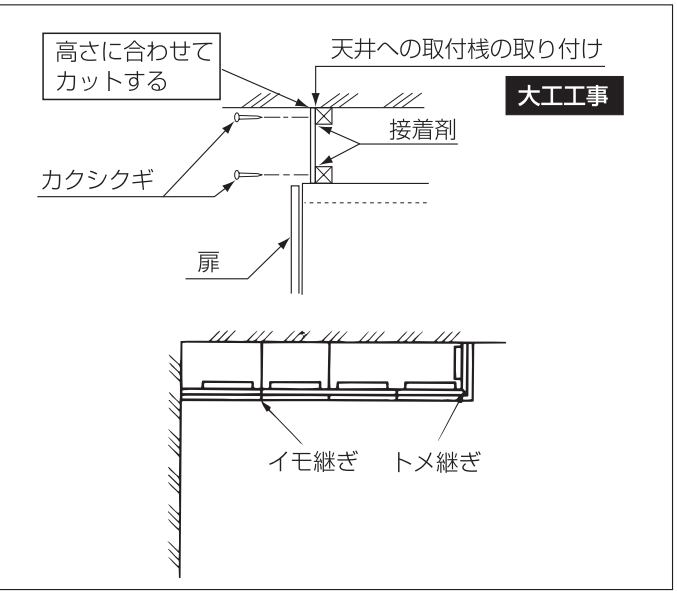
(1)取付桟をキャビネットごとにカットします。図の通り、キャビネット間口に対して50㎜程短く、奥行方向は100㎜程短くカットします。
(2)取付桟の取り付け位置はキャビネットの前面・側面より15～20㎜奥に取付ネジで固定してください。



4-3 天井フィラーの取り付け

天井フィラーはウォールキャビネット設置後に、下記の手順で取り付けてください。

(1)天井フィラーを取り付ける際、建築躯体に合わせてフィラーの削り合わせをし、出隅はトメ継ぎ、入隅はイモ継ぎで取り付けてください。間口方向に直線で継ぐ場合は、キャビネットの接合部で継げるようにフィラーをカットします。
(2)天井フィラーは接着剤とカクシクギで固定してください。



5 天井スペーサーの取り付け

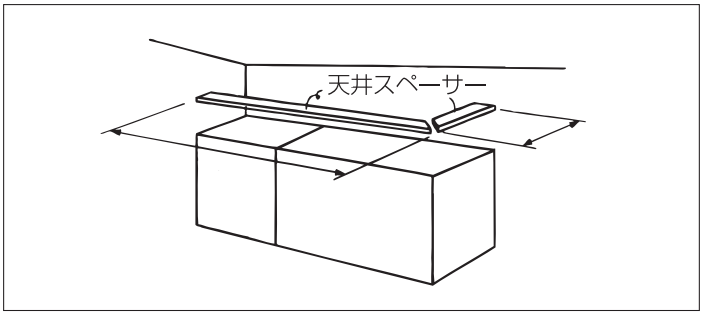
ウォールキャビネットを天井に直接取り付ける場合にご使用ください。

キャビネット類を建築躯体に取り付ける前に、天井スペーサーをキャビネットに取り付けてください。

●取付ネジは別途手配です。取付ネジはマルモクネジ 3.5×16を使用してください。

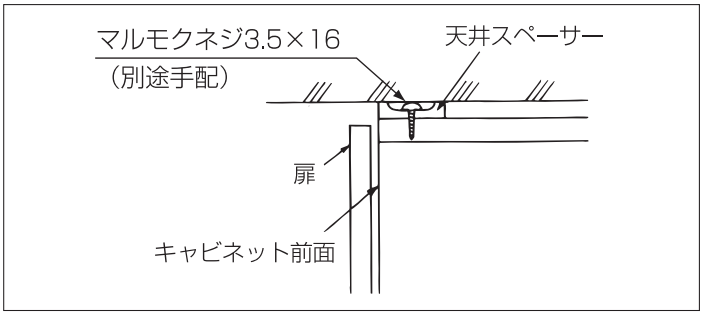
5-1 天井スペーサーのカット

取り付ける間口・奥行を確認し、天井スペーサーをカットします。



5-2 天井スペーサーの取り付け

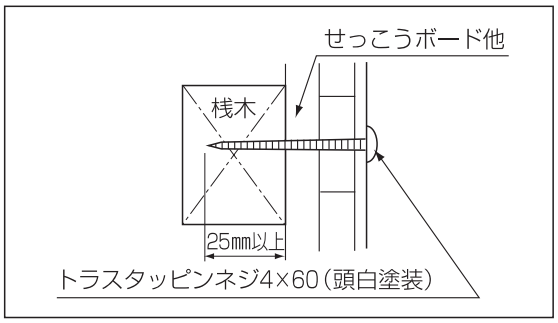
キャビネット前面に合わせ、天井スペーサーを固定します。

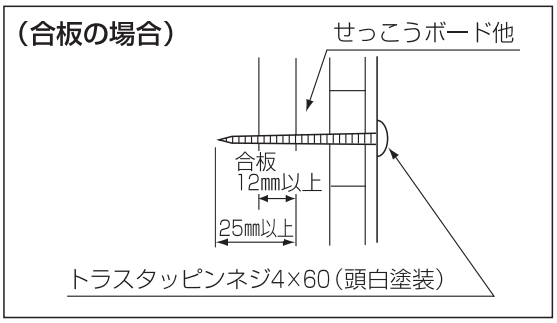


6 ウォールキャビネットの取り付け

⚠警告 **以下の事項と条件を必ず守って設置する。**
守らないとウォールキャビネットが落下するおそれがあります。

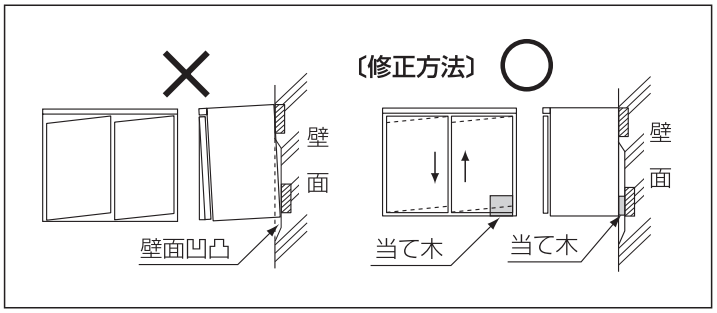
●必ず所定のネジ本数・固定場所を確認してから設置する。
●固定ネジをしめすぎて空回りしたり、ネジ頭をとばしたりしないよう確実に固定する。
●固定ネジは必ず同梱しているネジを使用し、取付桟に25㎜以上かかるようにする。
●躯体側にネジ下穴をあける場合はφ2.5であける。それ以上であけるとネジの保持力が弱くなります。

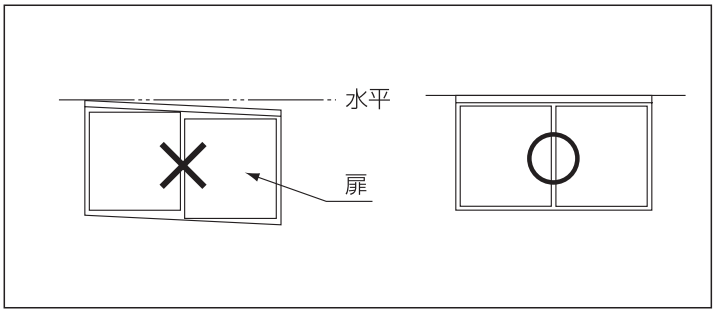




設置上のお願い

ウォールキャビネットを取り付ける壁面に凸凹があると、扉の段違いが生じます。壁面は必ず平面にしてください。
壁面に凸凹があり、扉の段違いが生じた場合は、図のように修正してください。



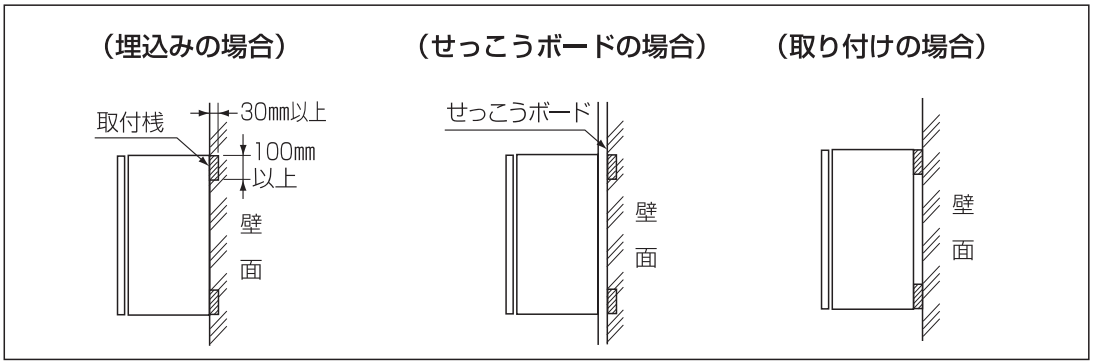


6-1 取付桟の工事 大工工事

ウォールキャビネットを取付･設置する壁面に、取付桟を取り付けるか、埋め込んでください。
せっこうボードで仕上げる壁面は、せっこうボードの内側に取付桟を取り付けてください。

⚠警告 **以下の事項と条件を必ず守る。**
守らないとウォールキャビネットが落下するおそれがあります。

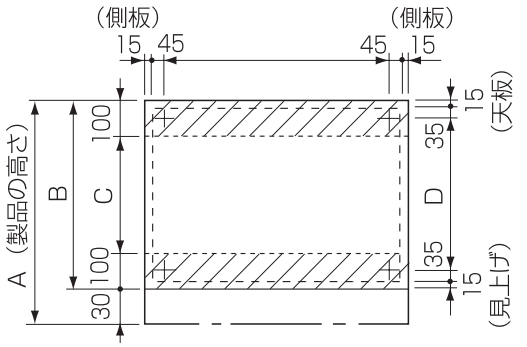
●本体重量と収納重量の荷重に対して、桟木が落ちないだけの強度をもたせてください。
（最大300kg／1キャビネット当り）柱などに確実に固定してください。
●取付桟は硬い材料（広葉樹、マツ・ツカ等の強度のある針葉樹および合板）で、虫くいや、くされのない木材を使用する。桟木は厚さ30㎜以上、幅100㎜以上が必要です。（合板下地の場合は12㎜以上）



■取付桟位置・固定ネジ位置(単位:㎜)と固定ネジ本数

■ウォールキャビネット

●間口900以下の場合
（ネジ本数4本）

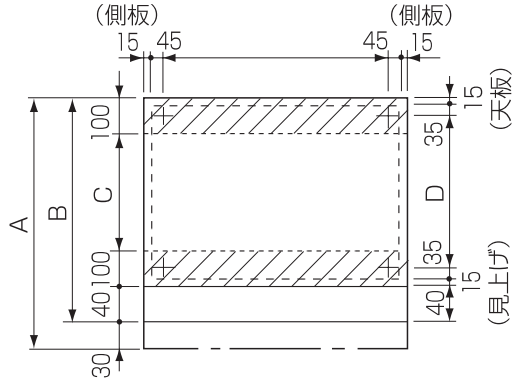


キャビネット高さ	A	B	C	D
ミ　ド　ル	700	670	470	570
ショート	500	470	270	370

■照明付ウォールキャビネット

背面に配線用の切欠き溝があるキャビネットの場合は、必ず溝位置を避けて取り付ける。
取付け強度が得られないばかりか、コード断線のおそれがあります。

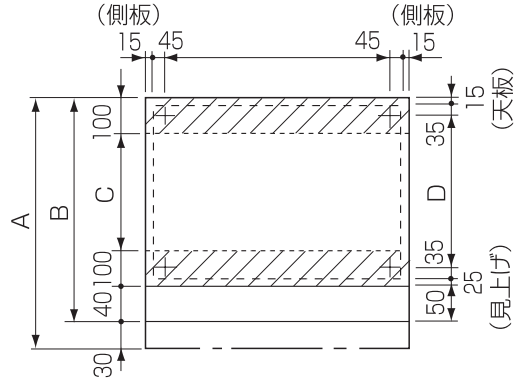
●間口900以下の場合
（ネジ本数4本）



キャビネット高さ	A	B	C	D
ミ　ド　ル	700	670	430	530
ショート	500	470	230	330

■照明スペース付ウォールキャビネット

●間口900以下の場合
（ネジ本数4本）



キャビネット高さ	A	B	C	D
ミ　ド　ル	700	670	430	510
ショート	500	470	230	310

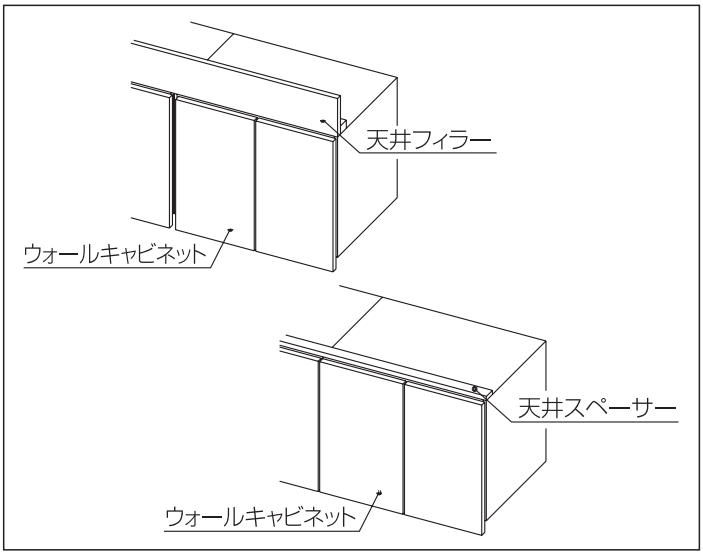
6-2 扉を取外す

「15．調整方法」を参考に扉を取り外します。

6-3 天井フィラー取付桟、フィラーの取り付け

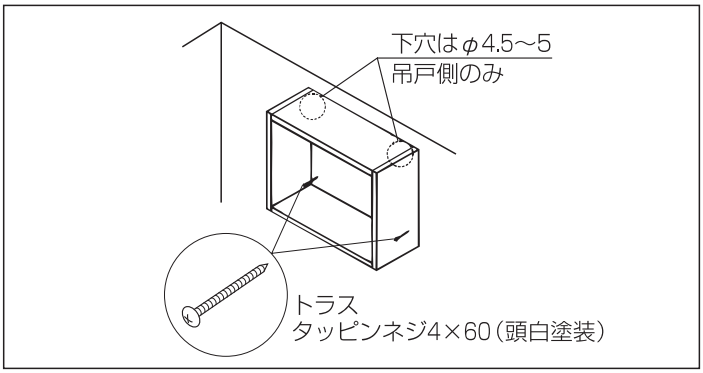
⚠注意
天井との間にフィラーなどを入れる
扉を開けたときに天井に当たるおそれがあります。

「4．天井フィラーの取り付け」、「5．天井スペーサーの取り付け」を参考に天井フィラー、天井スペーサーを取り付けます。

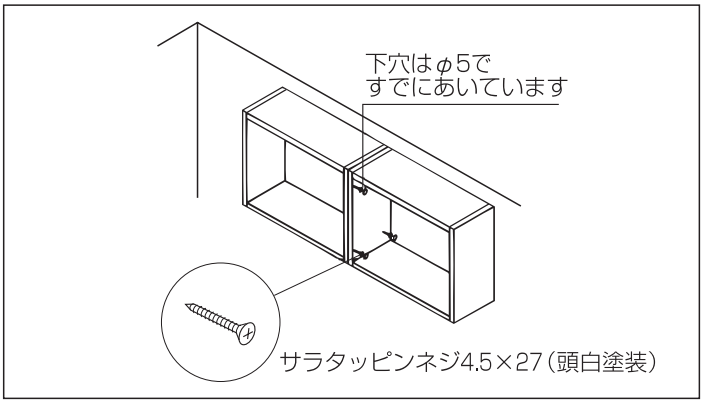


6-4 ウォールキャビネットの取り付け

①背板に下穴をあけ、付属のトラスタッピンネジ4×60（頭白塗装）でキャビネットを壁面に取り付けます。
下穴の位置は、「6−1．取付桟の取り付け」の「■取付桟位置、固定ネジ位置と固定ネジ本数」を参照ください。



②キャビネット同士をそろえ、隣のキャビネットと付属のサラタッピンネ4.5×27（頭白塗装）で連結します。



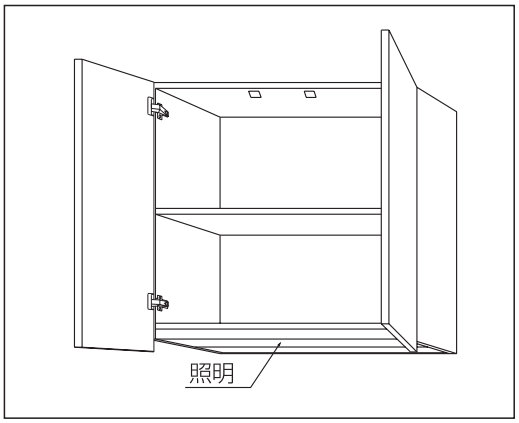
7 各種ウォールキャビネットの取り付け

7-1 照明付ウォールキャビネットの取り付け

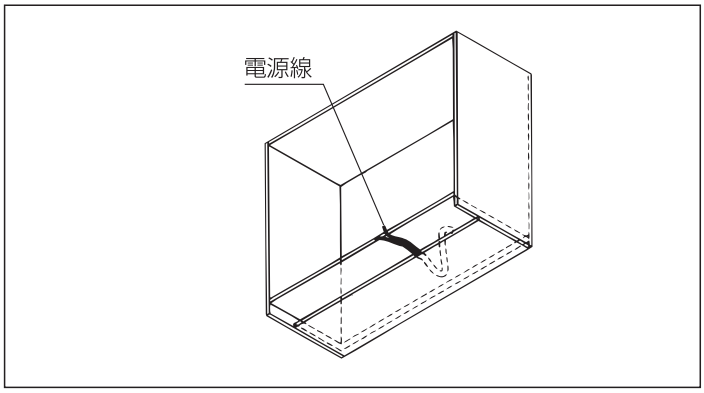
照明付ウォールキャビネット

⚠警告

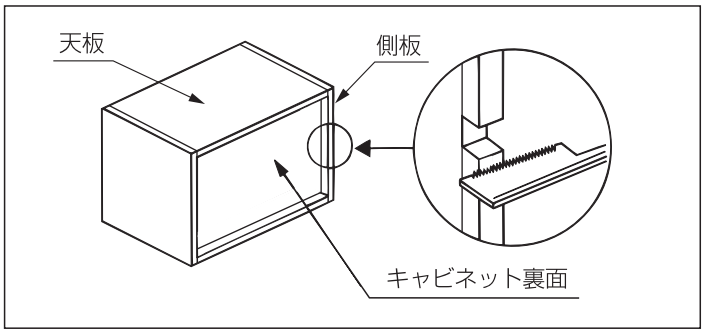
電気工事は関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」がおこなう。
接続が不完全な場合は、発煙や火災の原因になります。



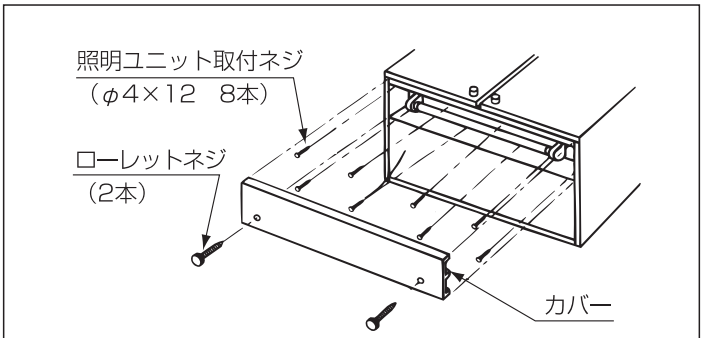
①キャビネットの取り付けは電源線を引き込みながら「6-4 ウォールキャビネットの取り付け」を参考にキャビネットを取り付けます。



電源線をほかから引いてくる場合は、側板や天板の後部を下図のように切り欠いて、配線してください。

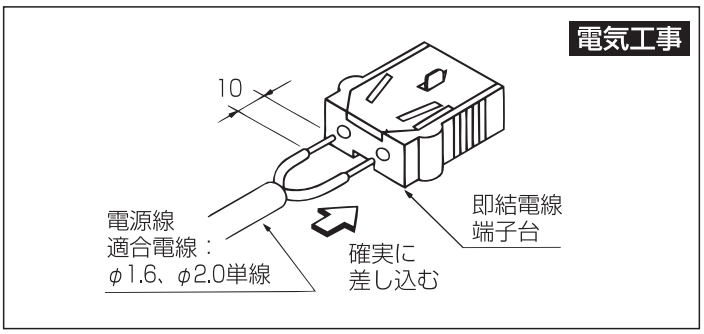


②ローレットネジをゆるめてカバーを外し、電源線を照明ユニットの中に取り込んでから照明ユニットを付属のビスでキャビネットに固定してください。



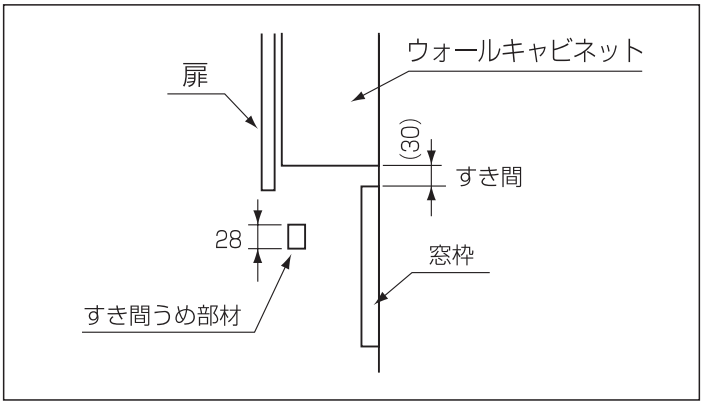
※蛍光管を外して作業してください。

③図のように即結電線端子台に電源線を差し込みます。



8 すき間うめ部材の取り付け

ウォールキャビネットと窓枠との小さなすき間（30㎜）を仕上げるため、必要に応じすき間うめ部材（別途手配）を使用します。
取り付け方法はすき間うめ部材に同梱の取付・設置説明書を参照ください。



9 フロアユニットの取り付け

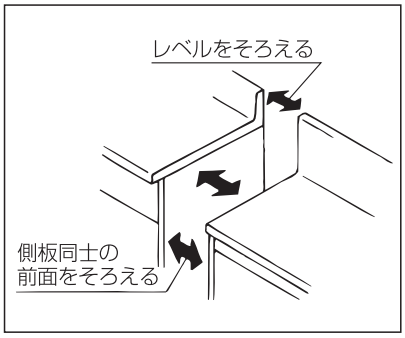
⚠ 注意

取付・設置終了後は扉の傾き・ガタつき・丁番のゆるみがないことを必ず確認する。
使用中に扉が落下して、ケガをするおそれがあります。

キッチンの両隣に壁がくる場合は、壁の間隔がキッチンの間口寸法より5㎜以上広いことを確認する。
狭まいとキッチンが設置できないおそれがあります。

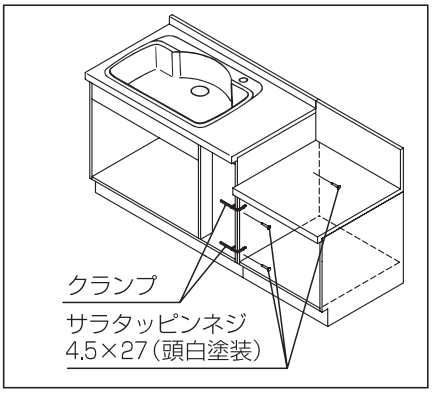
9-1 キャビネットの設置

①シンクキャビネット、コンロ台を仮置きします。
②各キャビネット同士の側板の前面の面合わせとステンレストップ（バックガード上面）のレベルをそろえてください。



9-2 キャビネットの連結

キャビネットの内部からサラタッピンネジ4.5×27（頭白塗装）で各キャビネットを確実に連結してください。



10 フロアユニット（トレーボードタイプ）の取り付け

⚠ 注意

取付・設置終了後は扉の傾き・ガタつき・丁番のゆるみがないことを必ず確認する。
使用中に扉が落下して、ケガをするおそれがあります。

キッチンの両隣に壁がくる場合は、壁の間隔がキッチンの間口寸法より5㎜以上広いことを確認する。
狭まいとキッチンが設置できないおそれがあります。

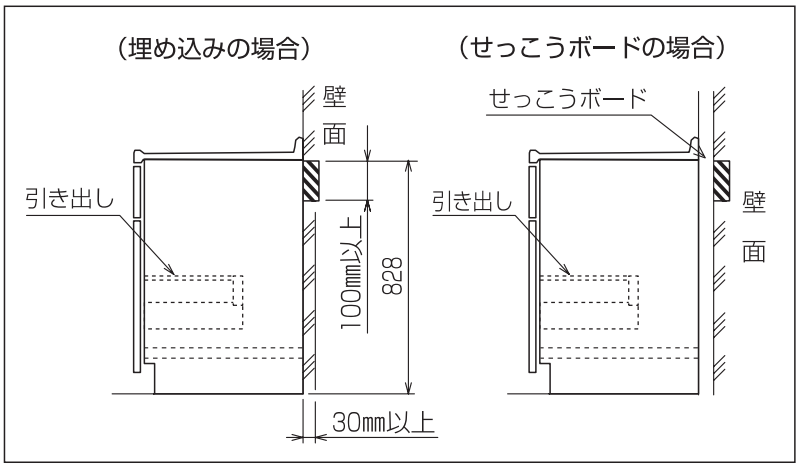
トレーボードタイプを取り付ける際には、壁面固定を行う。
壁面固定をしないと、引き出しを開けたときにキャビネットが手前に傾くおそれがあります。

10-1 取付桟の工事 大工工事

⚠ 注意

以下の事項と条件を必ず守る。
守らないと引き出しを開けたときにキャビネットが手前に傾くおそれがあります。

●取付桟は硬い材料（広葉樹、マツ、ツカ等の強度のある針葉樹および合板）で虫食いやくされのない木材を使用する。桟木は厚さ30㎜以上、幅100㎜以上が必要です。（合板下地の場合は12㎜以上）
右図を参考に取付桟を取り付けるか、埋め込んでください。

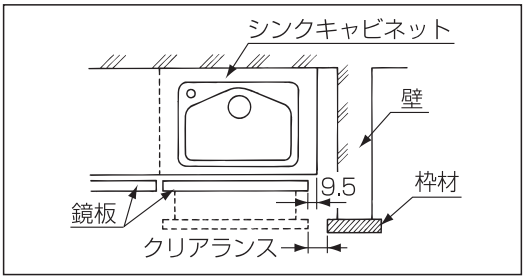


10-2 キャビネットの設置と連結

⚠ 注意

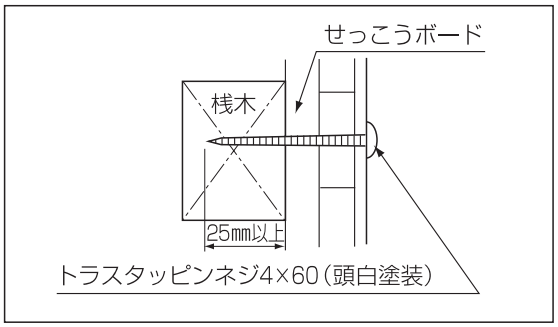
引き出しを開けた時に鏡板が建築物側の枠材に当たらないよう、クリアランスをとって設置する。
トレーボードタイプのシンクキャビネット側は鏡板の逃げが9.5㎜になっています。
クリアランスを十分取らないと、引き出しを開けた時に鏡板が枠材に当るおそれがあります。

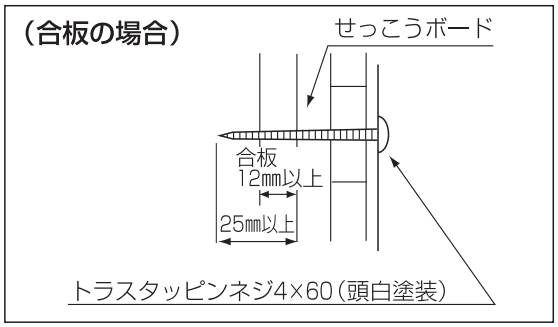
「9-1 キャビネットの設置」、「9-2 キャビネットの連結」を参考にし、キャビネットの設置と連結を行ってください。



10-3 フロアユニットの壁面固定

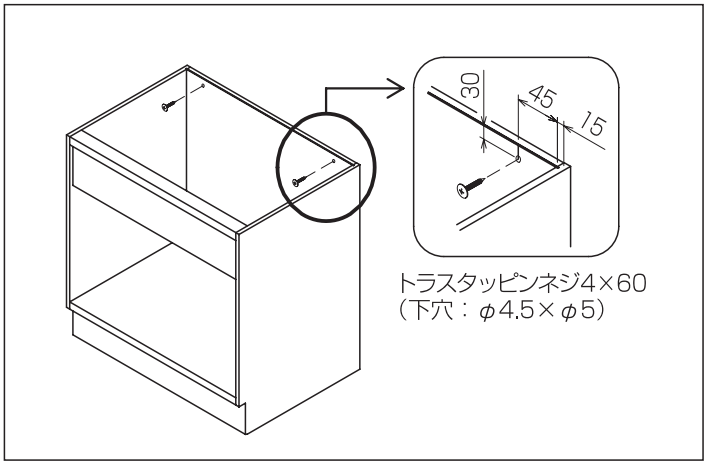
●固定ネジをしめすぎて空回りしたり、ネジ頭をとばしたりしないよう確実に固定する。
●固定ネジは必ず同梱しているネジを使用し、取付桟に25㎜以上かかるようにする。
●躯体側にネジ下穴をあける場合はφ2.6～φ2.7であける。それ以上であけるとネジの保持力が弱くなります。





①キャビネット背板の取り付けネジ位置に、あらかじめ下穴（φ4.5～φ5）をあけてください。

②シンクキャビネット同梱の固定ネジ（トラスタッピンネジ4×60）で、シンクキャビネット・ガスキャビネットを壁面に固定してください。



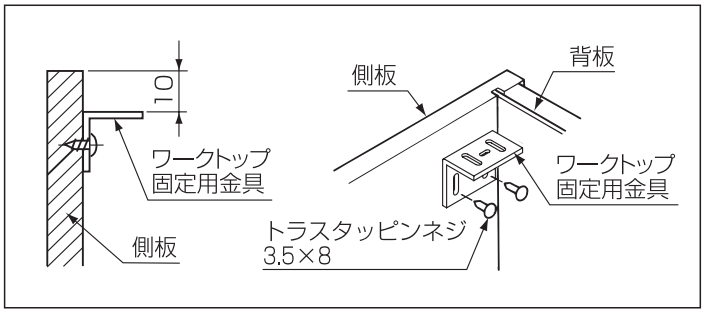
11 ワークトップの据え付け

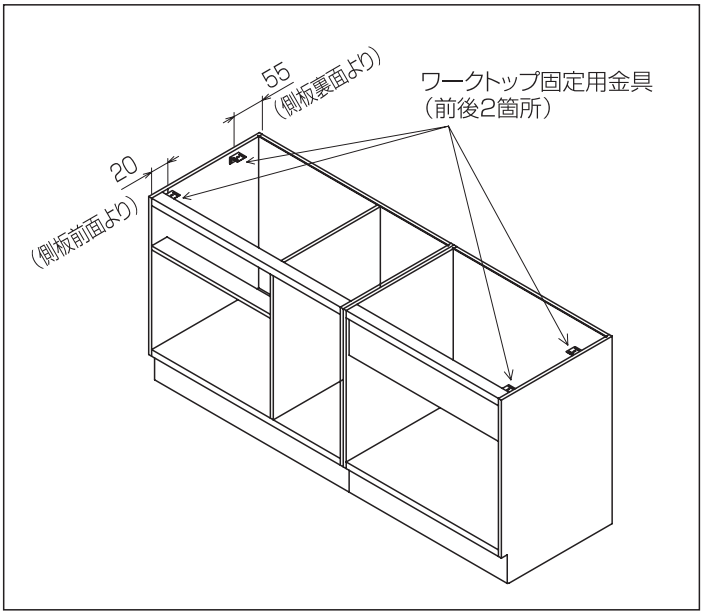
本項はフロアユニットとワークトップが別梱包の場合の作業手順を示します。
フロアユニットにワークトップが固定されている場合は本項の作業は発生しません。

11-1 ワークトップ固定用金具の取り付け

■ステンレストップの場合

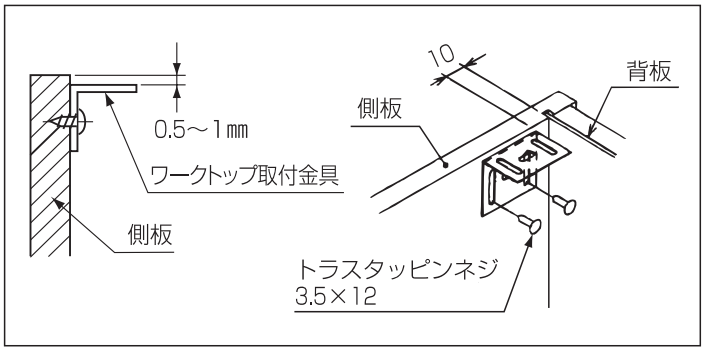
ワークトップに同梱のワークトップ固定用金具を右図の位置にトラスタッピンねじ3.5×8で取り付けてください。



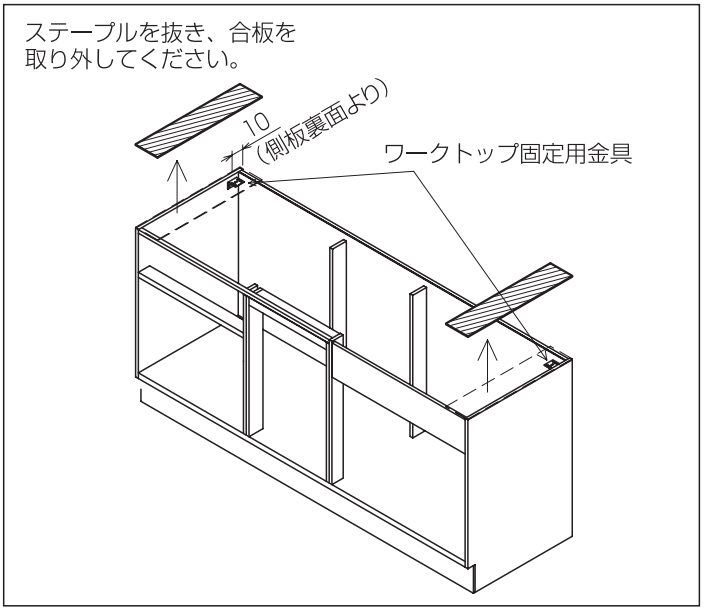


■人造大理石トップの場合

ワークトップに同梱のワークトップ固定用金具を下図の位置にトラスタッピンねじ3.5×8で取り付けてください。



ステープルを抜き、合板を取り外してください。



11-2 ワークトップの固定

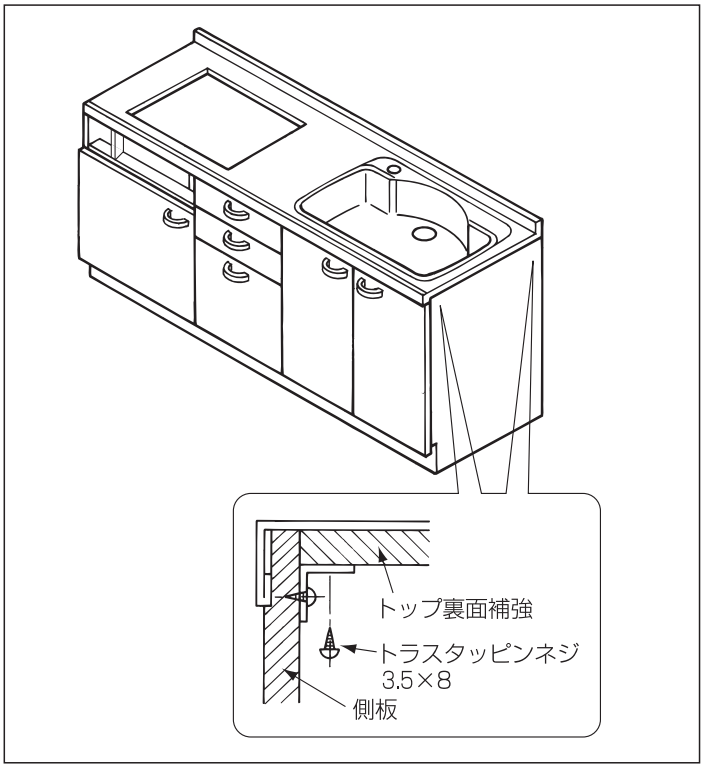
■ステンレストップの場合

「11－1 ワークトップ固定用金具の取り付け」で取り付けたワークトップ固定用金具とワークトップ裏面の補強を同梱のトラスタッピンネジ3.5×8で固定してください。

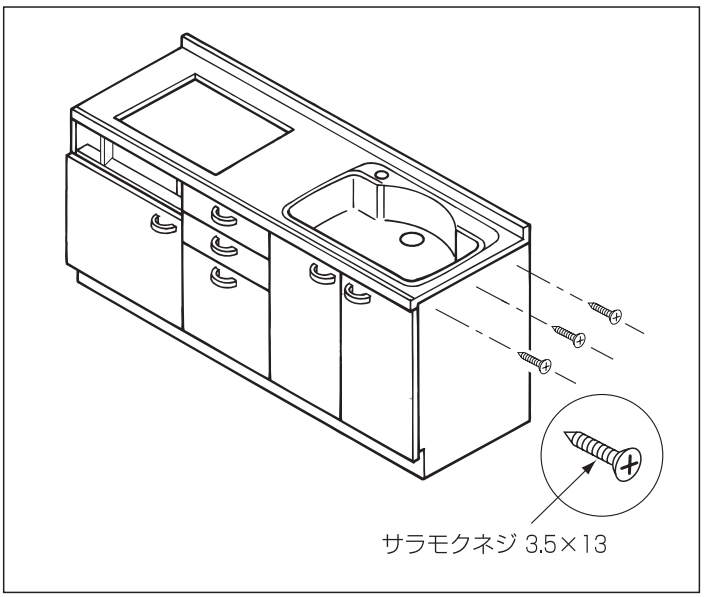
⚠注意

ステンレストップをワークトップ固定用金具を用いて固定する場合は必ずトラスタッピンネジ3.5×8を使用する。

これ以上長いネジを使用するとワークトップ裏面の補強を突き抜けて、ワークトップの表面が出っ張るおそれがあります。



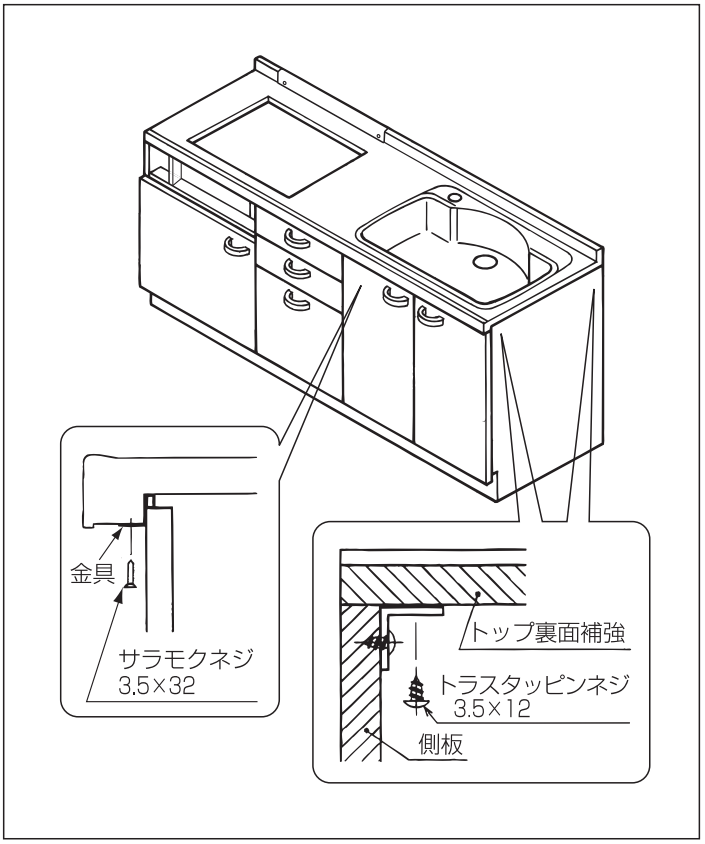
※キッチンの横に壁もしくはエンドパネルがこない場合はワークトップ側面をサラモクネジ3.5×13で固定してください。



■人造大理石トップの場合

ワークトップ前側はキャビネットに固定されている金具とワークトップを、サラモクネジ3.5×32で固定してください。

ワークトップの後側は「11−2 ワークトップ固定用金具の取り付け」で取り付けたワークトップ固定金具と、ワークトップ裏面の補強をトラスタッピンネジ3.5×12で固定してください。



12 水栓の取り付け

●水栓には１次配管と接続するためのソケットが同梱されていますので、紛失しないようにご注意ください。

⚠注意

水栓の取り付けは必ず取付・設置説明書および製品本体の表示事項を守り正しく設置する。

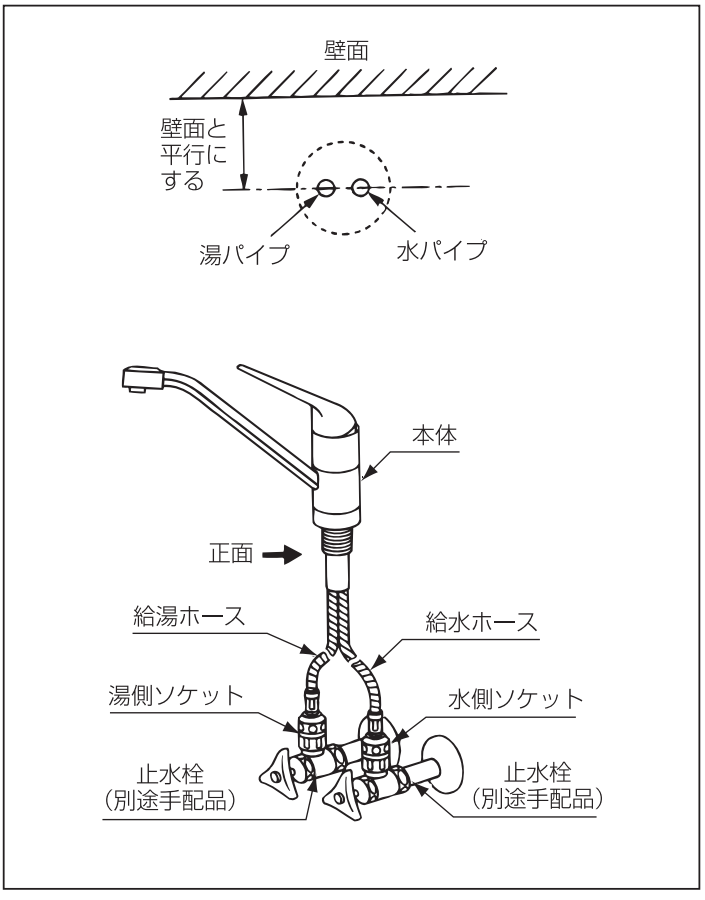
キッチン取付・設置

⚠注意

水栓と１次配管の接続は関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」又は管理者の指示に従っておこなう。

水漏れや腐食の原因となります。

管工事



13 排水部品の取り付け

⚠ 注意

必ず設置方法を守って取り付ける。
取り付けを誤ると湯水が漏れ、損害が出るおそれがあります。

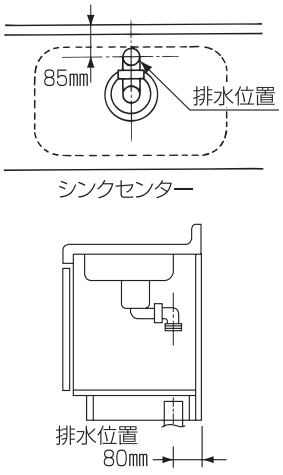
各部材のフクロナットの締め付けは、工具を使用しない。
工具を使用するとフクロナットが割れ、漏水するおそれがあります。

シンク締込部および各パッキン密着部はゴミ・ホコリ等を確実に取り除く。
ゴミ・ホコリ等が残っているとパッキンが密着せず、漏水するおそれがあります。

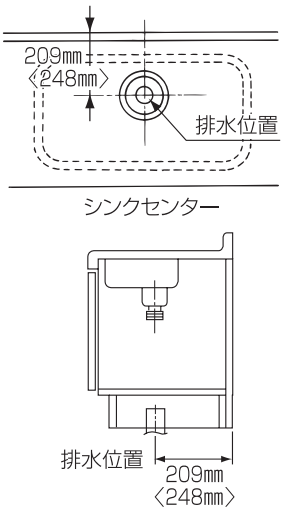
13-1 キャビネット底板の穴あけ

キャビネットタイプにより排水位置が異なります。
図を参照しキャビネットの底板に穴をあけてください。
（直管配管接続の場合：φ45、
ジャバラホース接続の場合：φ45）

■トレーボードタイプの場合



■コンパートメントタイプ ブロックタイプの場合



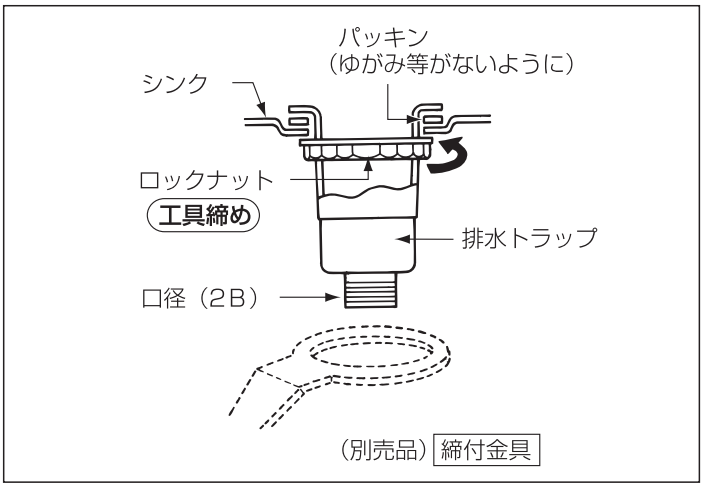
〈 〉内寸法は40シンクの場合です。

13-2 排水トラップの組み付け

■コンパートメントタイプ・ブロックタイプの場合

①排水トラップにパッキンが確実に取り付いていることを確認し、排水トラップをシンクの排水口の穴に上から差し込みます。

②シンクの下側からロックナットを専用工具で固く締め付け排水排水トラップをシンクに固定します。

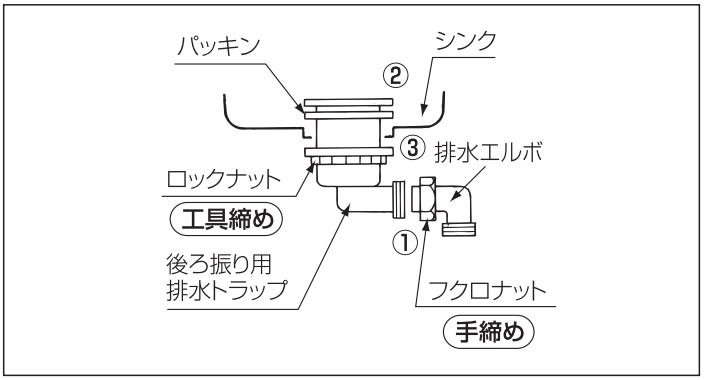


■トレーボードタイプの場合

①排水エルボと排水トラップを接続します。フクロナットは工具を使用せず、手できつく締め付けます。

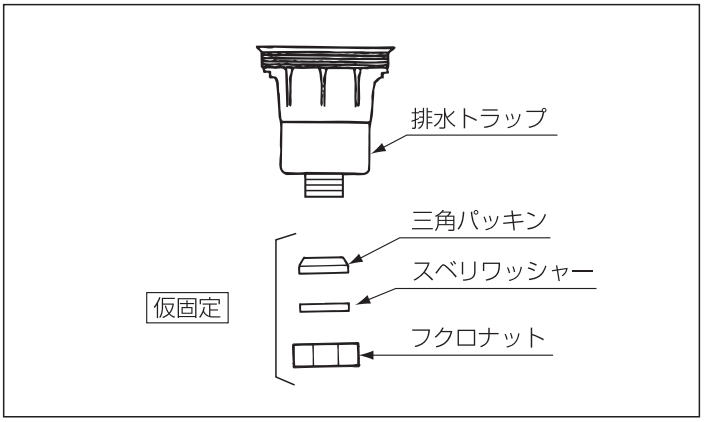
②排水トラップにパッキンが確実に取付いているのを確認し、排水トラップをシンクの上から設置します。

③シンクの下からロックナットを専用工具で固く締め付け、排水トラップをシンクに固定します。



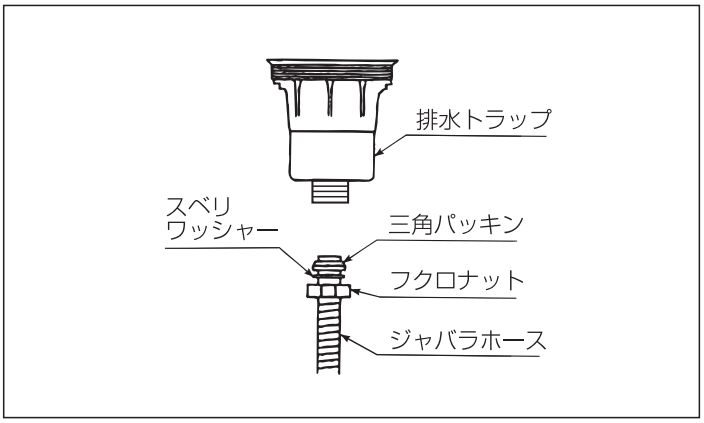
【直管配管接続の場合】

フクロナット（直管排水パイプセットに同梱）にスベリワッシャーと三角パッキンをセットし、排水トラップと仮固定します。



【ジャバラホース接続の場合】

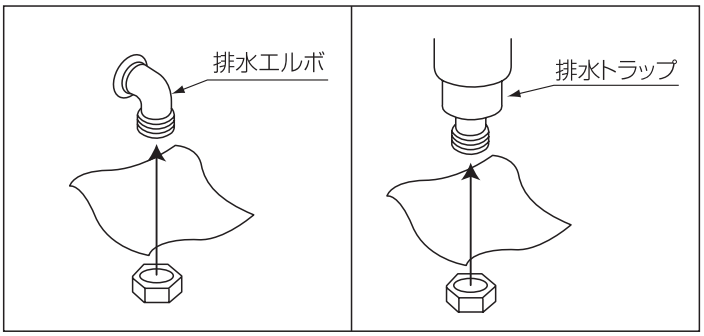
ジャバラホースにスベリワッシャー、三角パッキン、フクロナットをセットし、排水トラップに接続します。



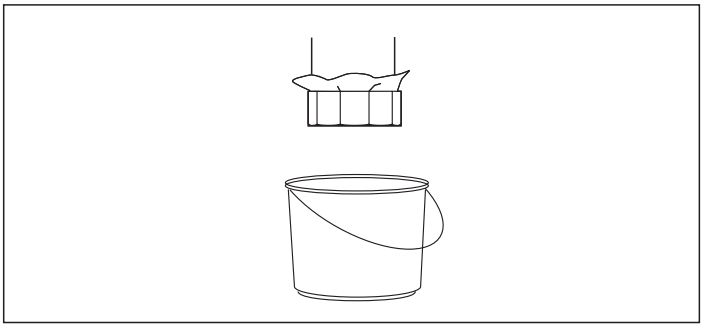
13-3 水漏れ確認

【直管配管接続の場合】

①穴や傷がない梱包袋を下図のように排水部品接続口にあてて、袋ナットをきつく締めこんでください。
※三角パッキン、スベリワッシャーは使用しないでください。

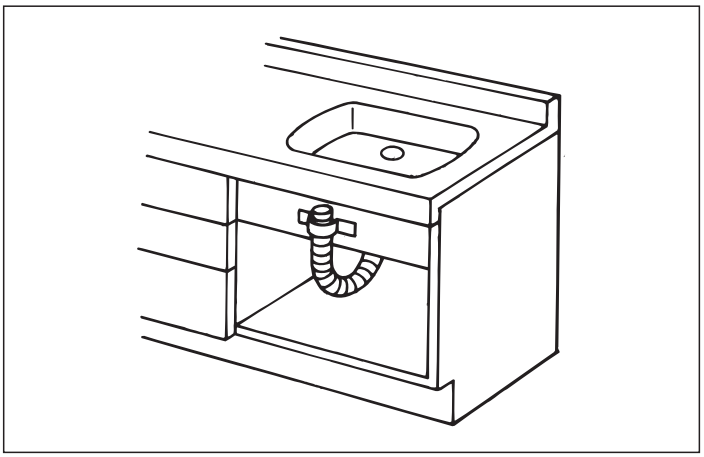


②排水部品接続口の下にバケツを用意し、シンク内に水をため、30分ほど放置します。
トラップの接合部から水漏れがないことを確認してください。



【ジャバラホース接続の場合】

下図のように排水ホースを水面より上になるようにテープなどで仮止めし、シンク内に水をため、30分ほど放置します。
トラップの接合部から水漏れがないことを確認してください。



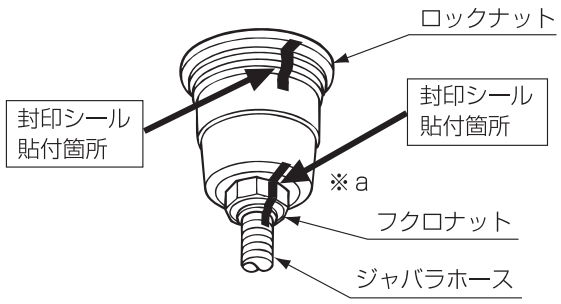
13-4 封印シールの貼り付け

各部接続・水漏れ確認が終わり、漏水がないことが確認できたら、下図のようにトラップ排水経路に封印シールを貼り付けてください。

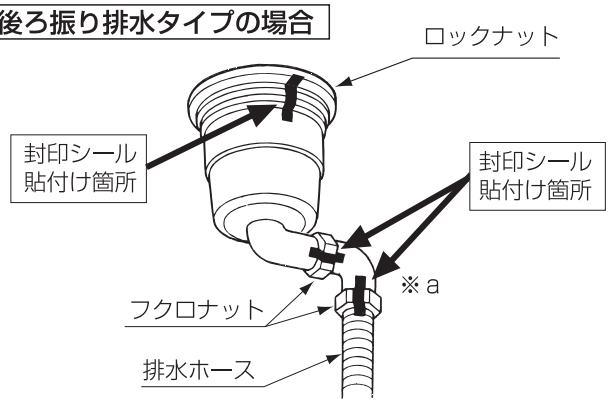
封印シールは必ずロックナット・フクロナットをまたぐように貼り付ける。

直管配管の場合はロックナットー排水トラップ、排水トラップーフクロナット間のみ封印シールを貼る。

真下排水タイプの場合



後ろ振り排水タイプの場合

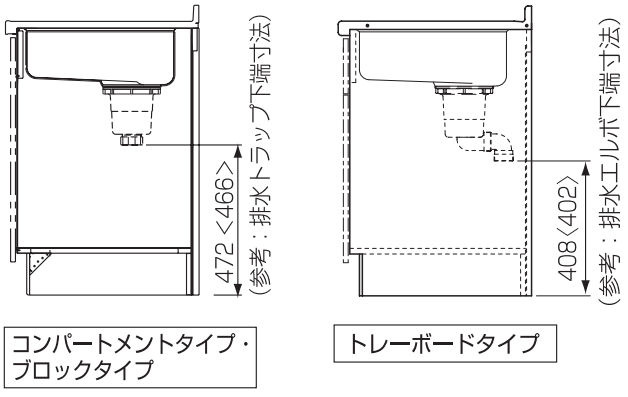


※a. 直管配管の場合は、排水パイプとフクロナット間には封入シールは貼らずに、余った封入シールは回収する。（管工事区分のため）

13-5 排水管の接続 管工事

⚠警告 排水管の接続（管工事）は関連する法令・規定上の管理者の指示に従っておこなう。

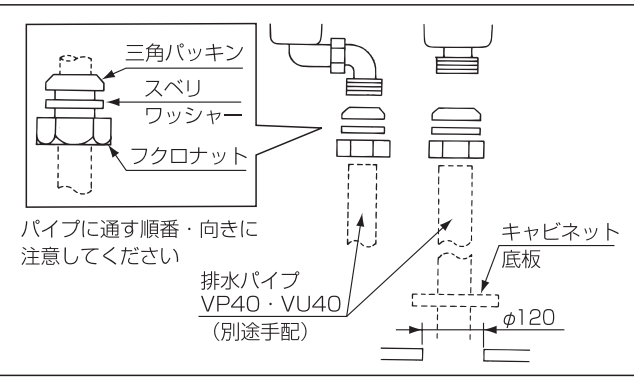
⚠注意 **排水管の接続部は確実に締め付ける。**
接続が不完全な場合は、水漏れや腐食の原因となります。



■直管排水接続の場合 管工事

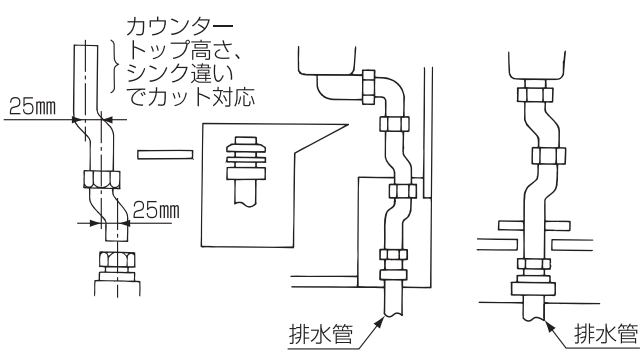
フクロナット、三角パッキン、スベリワッシャーを右図のとおり、排水パイプ（ＶＰ40・ＶＵ40）に通し取付けてください。

排水パイプ（VP40･VU40）は別途部品手配となります。
また、排水円板も別途手配となります。



■直管排水接続の場合（偏芯タイプ） 管工事

右図のように、排水管の立上げ位置がぶれた時に使用する。偏芯タイプの直管配管用パイプセット（別途手配品）について、直管配管パイプセットに同梱されている取付説明書を参照ください。
・排水管との接続には、塩ビ用接着剤が必要となります。
・排水管の立上げ位置のぶれ対応範囲は50mmまでです。

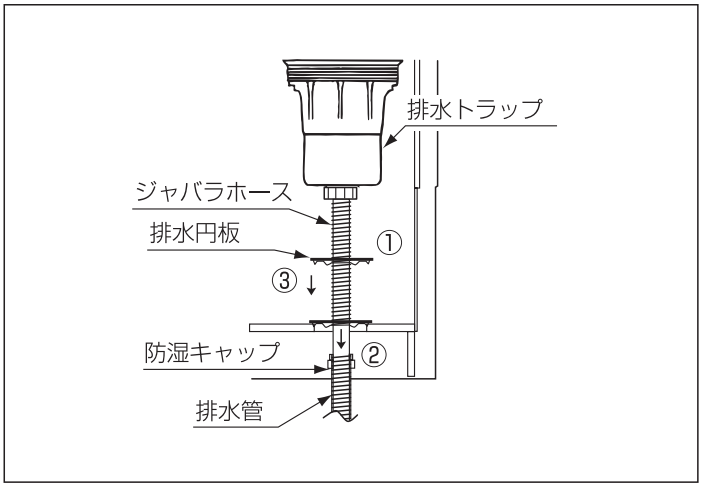


■ジャバラホース接続の場合

①排水ホースに排水円板を通します。

②排水ホースを建築側の排水管に差し込み、防湿キャップを取り付けます。

③排水円板でキャビネット底板の穴をかくします。



●排水管の接続について

⚠ 注 意

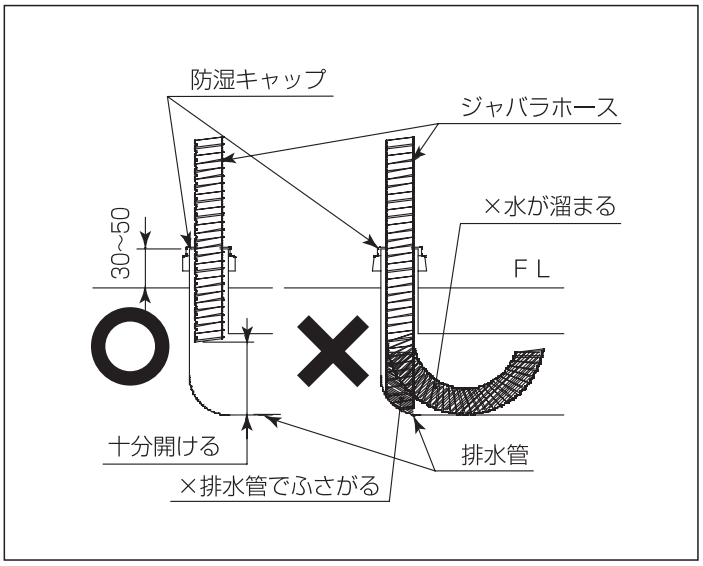
排水管は床面より30～50㎜の間で立ち上げる。
立上げが長いとビルトイン機器の排水が逆流します。

ジャバラホースをダブルトラップにならないようにして排水管に差し込む。またジャバラホースが長い場合は排水管の立ち上げ寸法に合わせて先端をカットする。
ジャバラホースが長いとホースの内部に排水が残り、水の流れが悪くなります。

防湿キャップを排水管の穴がしっかりふさがるように押し込む。
防湿キャップの押し込みが不完全だと、漏水や悪臭の原因になります。

ジャバラホースは曲がり・たるみの無いように差し込む。
ジャバラホースに曲がり・たるみがあると、ジャバラホースがあばれ、ジャバラホースが破れることがあります。

ジャバラホースの先端が排水管によりふさがれないように差し込む。
ジャバラホースの先端がふさがれてしまうと、ゴミが詰まりやすくなり、水の流れが悪くなります。



※防湿キャップは、VP−40，VP−50，VU−40，VU−50に対応します。

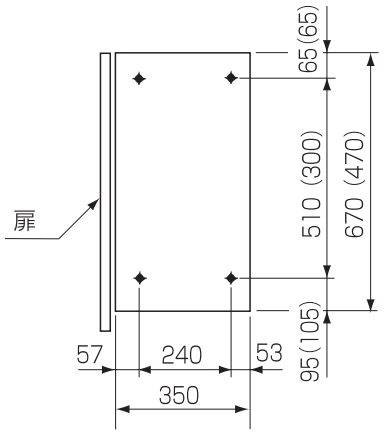
14 エンドパネルの取り付け

14-1 キッチン用・ウォールキャビネット用エンドパネルの取り付け

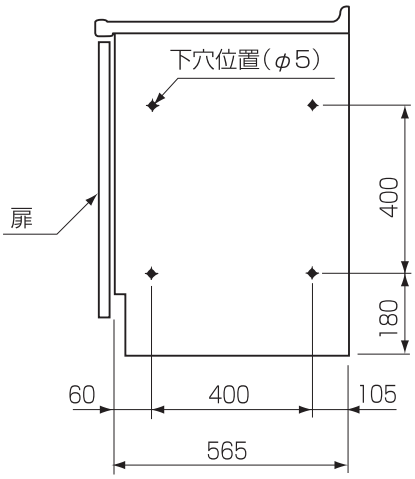
①キッチン用のエンドパネルはH＝2,700㎜で納入されます。「2−1 取付位置」の「基本設置寸法」を参考にし、エンドパネルをカットしてください。

②エンドパネルを固定する下穴（φ5）を、フロアキャビネット、ウォールキャビネットの右図の位置に開けてください。

③キャビネットの内側からエンドパネルを同梱のサラタッピンネジ4.5×27（頭白塗装）で取り付けてください。



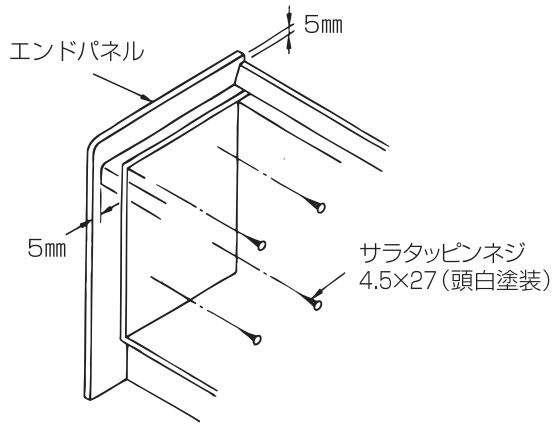
※（　）内寸法は、ショートタイプを示す
（キャビネット内部の側板に案内用の下穴があります。）



14-2 フロアユニット用エンドパネルの取り付け

①「14−1 キッチン用・ウォールキャビネット用エンドパネルの取付け」を参考に、フロアユニットにエンドパネルを固定する下穴（φ5）を開けてください。

②エンドパネルをカウンタートップの前面から5㎜、バックガードの上面から5㎜でるように合わせ、キャビネット内側から同梱のサラタッピンネジ4.5×27（頭白塗装）で固定してください。

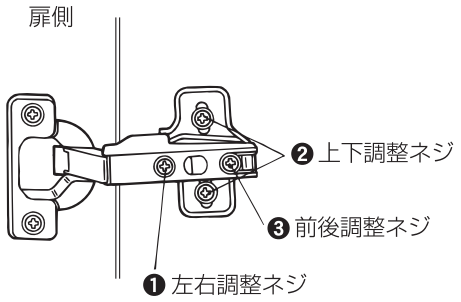


15 調整方法

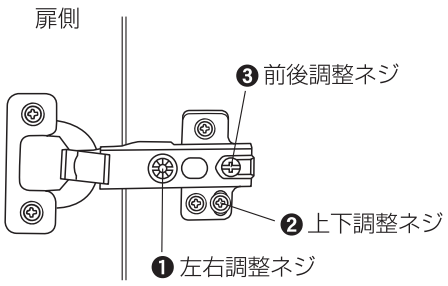
15-1 扉の調整方法

扉の調整は丁番の❶・❷・❸のネジによって調整できます。
※❶・❷・❸のネジを緩めすぎると、扉が外れることがありますのでご注意ください。

■通常の扉の場合

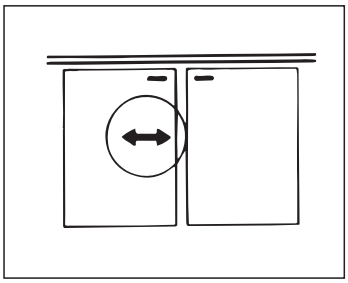


■トレーボードタイプ(フィラー側)の場合



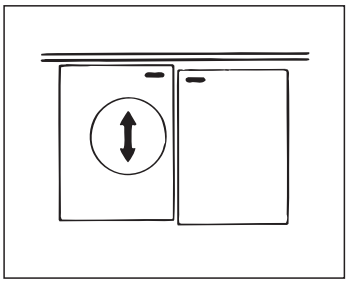
●左右調整

❶のネジを左に回すと丁番側に移動し、右にまわすと丁番と反対側に移動します。



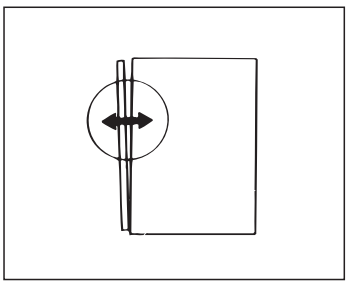
●上下調整

上下に扉が片寄っている場合は❷のネジをゆるめて座金の位置を調整します。
（上下２本の丁番を調節してください。）



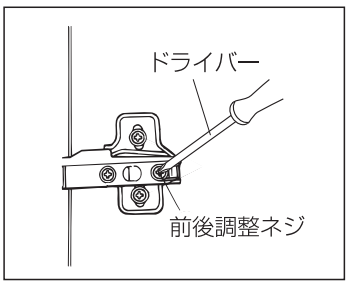
●前後調整

前後の開きは❸のネジで調整できます。



●扉を取り外したいとき

❸の前後の調整ネジをゆるめます。
取り外す際は扉をしっかり支えながら行い、扉やキャビネットを傷つけないよう気をつけてください。

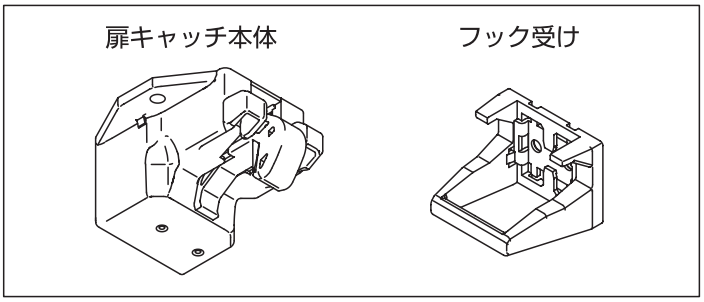


●調整後の確認

扉調整後は、すべての丁番の❷と❸のネジが締め付けられていることを確認してください。

15-2 扉キャッチの調整方法

※扉キャッチの調整は、必ずキャビネットの設置・扉の調整をした後に行う。



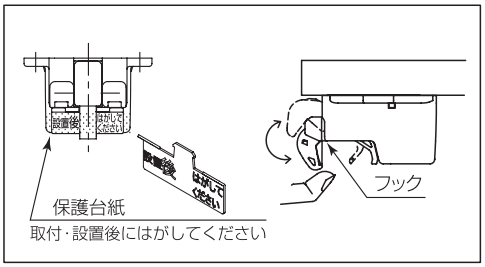
1．設置確認方法

①保護台紙を取り外す

扉キャッチ本体に貼り付けてある保護台紙を取り外し、フックがスムーズに上下するか確認してください。

②開閉確認

扉をゆっくり開閉しながら、扉が正常に開閉することを確認してください。
扉を開けた時にフックが上がった状態であることを確認してください。

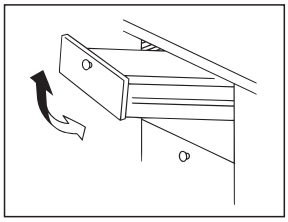


15-3 引出しの取り外し・取り付け・調整方法

●プラスチック製引出し（白色）タイプの取り外し・取り付け・調整方法

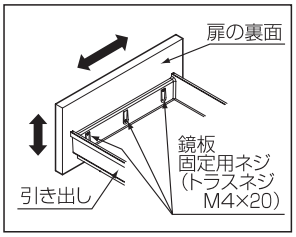
■引出しの取り外し・取り付け

完全に引き出した状態で持ち上げ、そのまま引き出して外します。
取り付けは取り外しの逆の操作をしてください。



■鏡板の左右、上下の調整

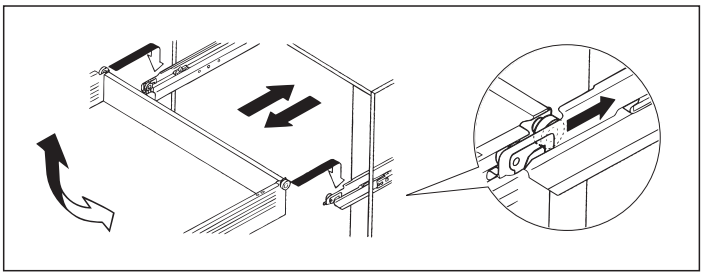
①鏡板を支えながら、鏡板を固定ネジをゆるめます。
②鏡板を動かします。
（上下･左右に±2㎜調整できます。）
③鏡板固定ネジを締め付けます。



●スチール製引出し（白色）タイプの取り外し・取り付け・調整方法

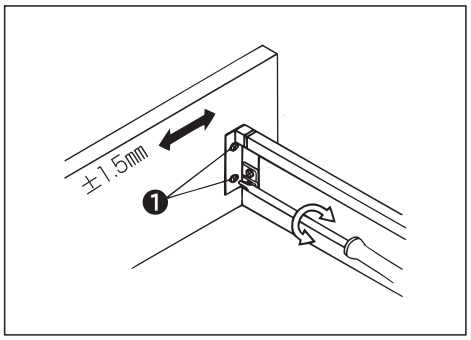
■引出しの取り外し・取り付け

完全に引き出した状態で持ち上げ、そのまま引出しを外します。取り付けは引出しに付いているローラーとレールがかみ合うように引出しを入れてください。

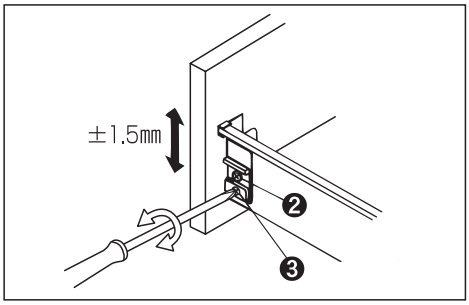


■鏡板の左右・上下調整および着脱方法
〔引出し鏡板の調整〕

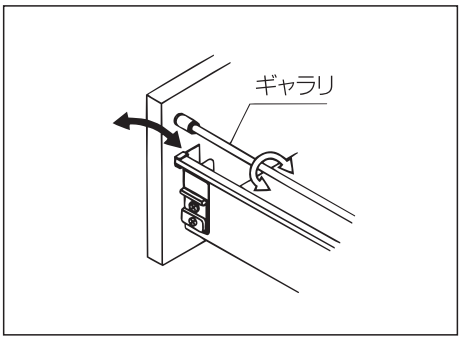
1.左右調整
❶のネジ（左右）をゆるめると左右に鏡板が動かせます。



2.上下調整
❷のネジをゆるめ❸のネジを回すと上下に鏡板が動きます。調整後❷のネジをしめます。

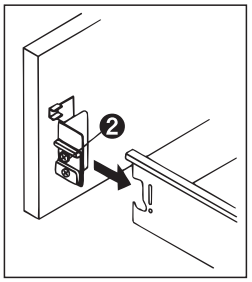


3.鏡板のあおり調整
ギャラリを左右に回しあおりを調整してください。

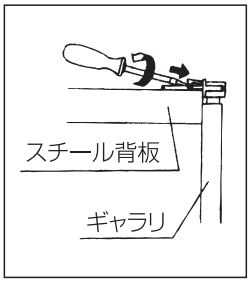


■鏡板の着脱方法

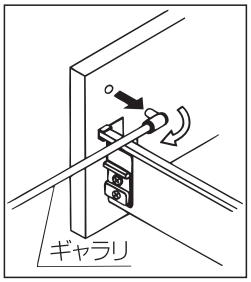
1.鏡板の取り外し
❷のネジ（左右）をゆるめて鏡板を取り外してください。



2.ギャラリの取り外し
スチール背板の後部に引っ掛けているギャラリの爪をマイナスドライバーで外してください。



ギャラリを図のように折り曲げ、ギャラリを取り外してください。



16 仕上げ・付属部品の取り付け

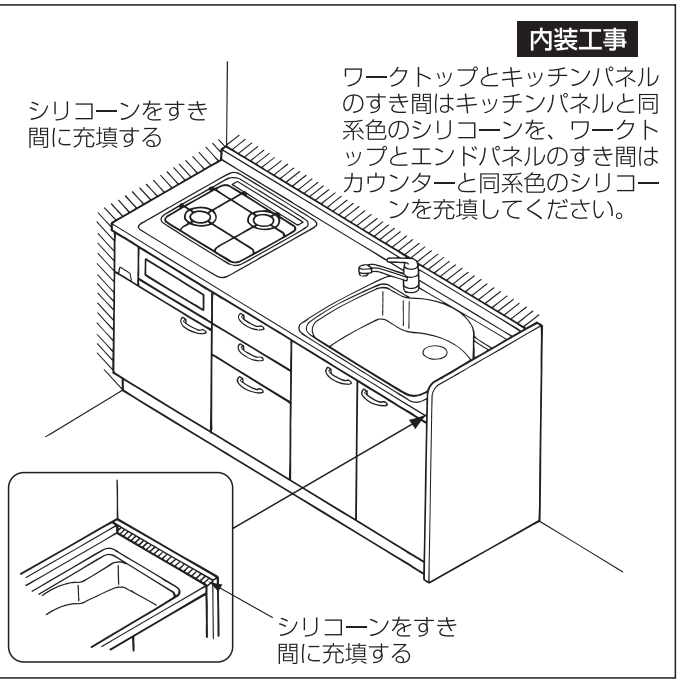
16-1 目地処理をする

⚠注意

シリコーンを充填する場合、部位によって内装工事となる場合があるので、建築壁とワークトップの間の目地処理は、内装工事業者へ依頼する。

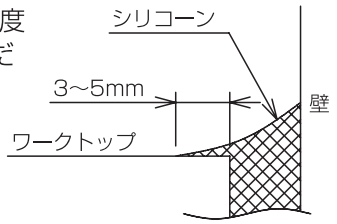
⚠注意

ワークトップと、壁またはエンドパネルの合わせ部はシリコーンを充填する。
埋め方が不完全な場合、水こぼれでユニットやエンドパネル、および床や壁をいためるおそれがあります。

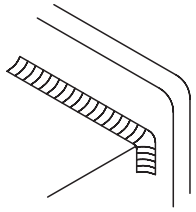


ワークトップと壁又はエンドパネルの目地処理方法

ワークトップに3～5mm程度のるように目地処理してください。



ワークトップ前面も同様に目地処理してください。

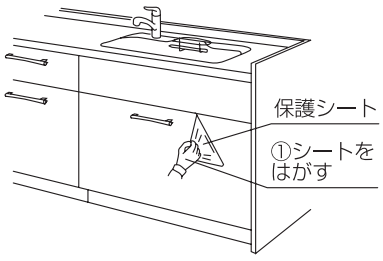


16-2 扉キャッチの調整

「15-2 扉キャッチの調整方法」を参考にし、扉キャッチの保護テープをはがして、扉キャッチの調整をおこなってください。

16-3 保護シートをはがす

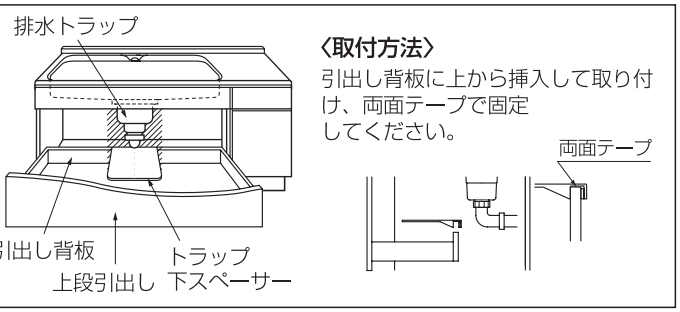
保護シートのはってある扉・取付部材は、右図のようにシートをはがしてください。
トッテのある場合、トッテを１度取り外し保護シートをはがしてください。
トッテを取り付けてからはがすと、トッテ部にシートが残ります。



16-4 シンクキャビネットのトラップ下スペーサーの取付けについて（トレーボードタイプのみ）

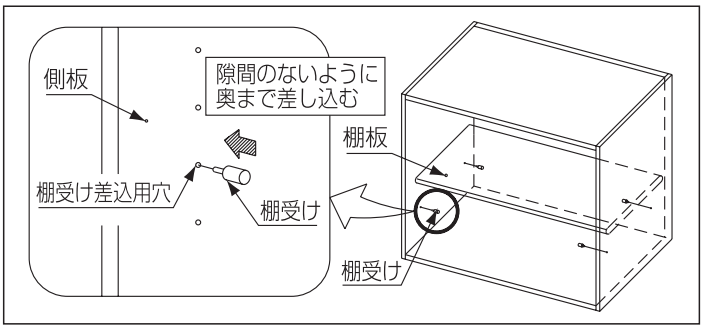
■トレーボードタイプの場合

引出しの背板に同梱のトラップ下スペーサーを取り付けます。
トラップ下スペーサーは必ず排水トラップのセンターに取り付けてください。



16-5 棚板のセット

棚受けは隙間のないよう奥まで差込み、棚板を確実に乗せてください。



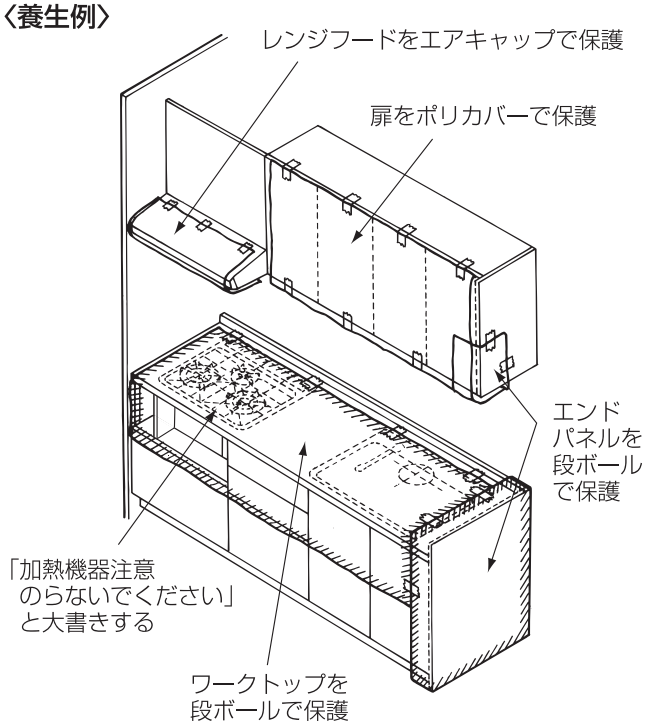
17 取付・設置担当者へのお願い

17-1 清掃と養生

●取付・設置後のキャビネットや扉のホコリ・汚れは、やわらかい布で拭き取ってください。家具用ワックスやシンナー、アルコールなどの溶剤または研磨剤の入った洗剤は使用しないでください。変色したり、光沢をなくしたりして、扉やキャビネットの表面を傷めます。
●取り付け後、内装工事などの後工事がある場合は養生を行ってください。

●養生につかう段ボールは梱包材を使用してください。
●加熱機器等があることがわかるように図のような注意文を大書きしてください。
●養生につかうテープは粘着力の弱いものを使用してください。

〈養生例〉



17-2 取付・設置後のチェック

●キャビネットが確実に固定されているか確認してください。
完了報告書に従って確認してください。

⚠注意

扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを確認する。
使用中に扉が落下して、ケガをするおそれがあります。

17-3 後工事の説明と引継ぎ

●建築工事側で行っていただく後工事は、必ず建築工事担当者に引き継いでください。
●取扱説明書は確実にお客さまに届くよう配慮してください。

17-4 廃棄処分について

●廃棄処分の際は、必ず専門業者に依頼してください。

MEMO

株式会社 LIXIL

http://www.lixil.co.jp/

7340474　14TIOセコウセツメイショ　KAP
PKS-0120(14100)